

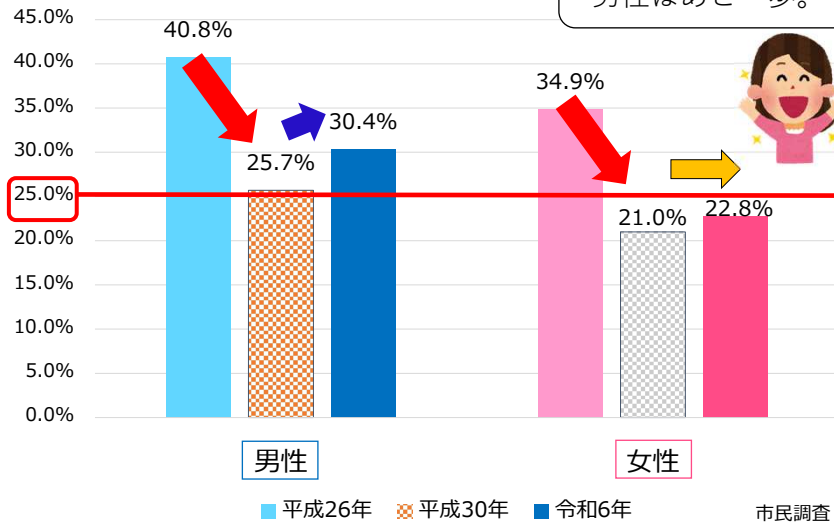
目次

- 栄養・食生活 P2～P26
- 運動・身体活動 P27～P49
- 休養・こころ P50～P69
- 喫煙 P70～P80
- 飲酒 P81～P87
- 歯と口腔 P88～P99
- がん・生活習慣病予防 P100～P111
- 健康づくりに取り組むまちづくり P112～P130

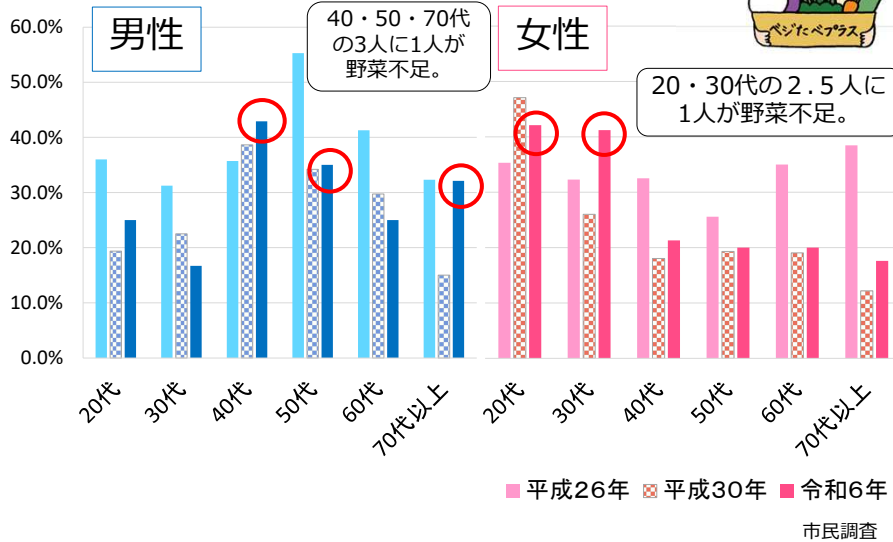
～栄養・食生活～

1日の野菜摂取量が 両手1杯(120g)未満の者の割合

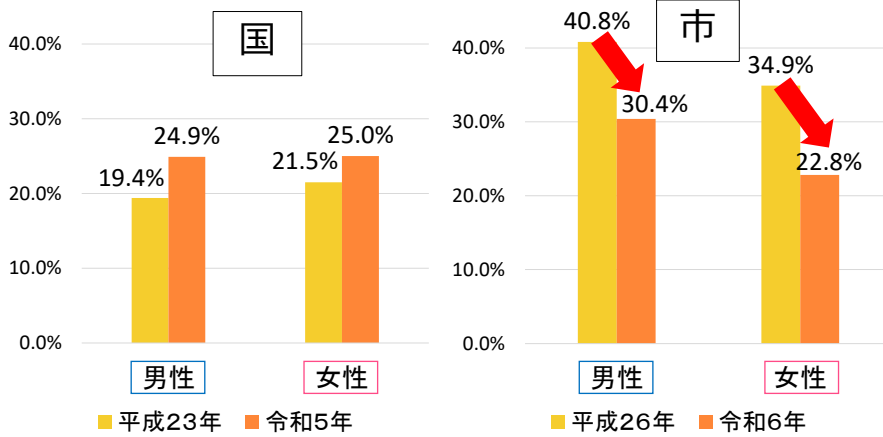
女性は目標達成！
男性はあと一歩。



1日の野菜摂取量が 両手1杯(120g)未満の者の割合



1日の野菜摂取量が 両手1杯(国140g 市120g)未満の者の割合



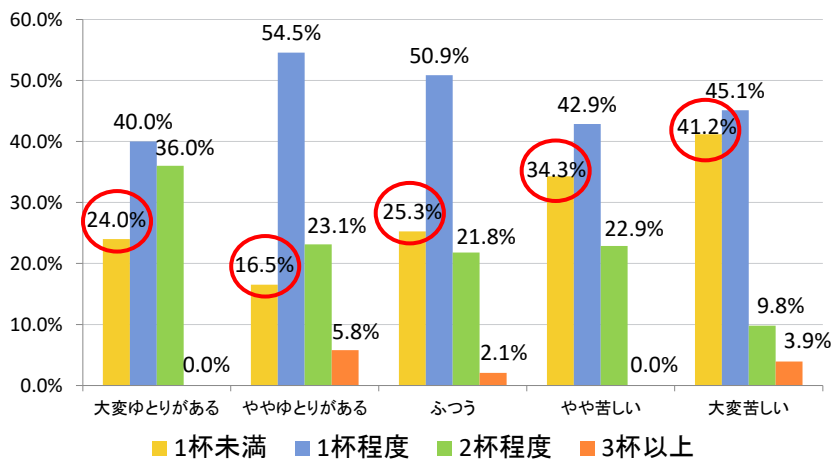
国は悪くなっているが、
市は良くなっている。
男性はあと一歩。



国民健康・栄養調査 / 市民調査

野菜摂取量と主観的経済状況の関係

Q. 「現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか」

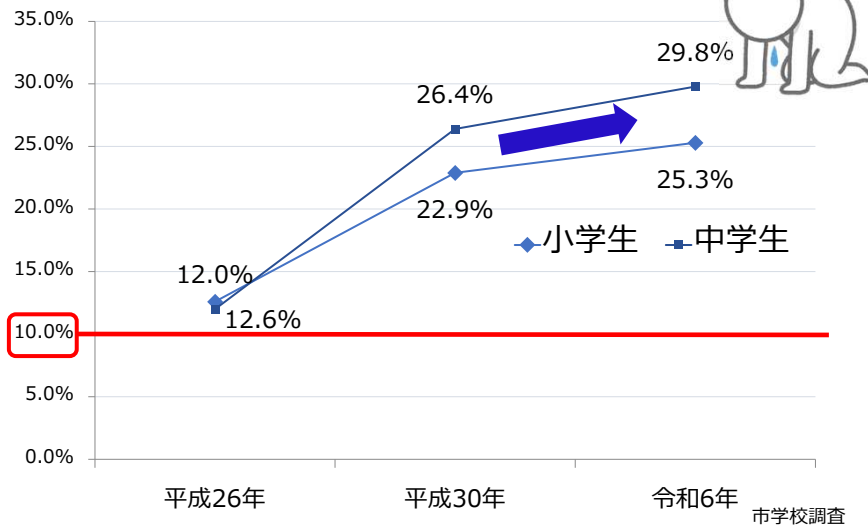


ゆとりがないほど1杯未満の者が多い。

R6市民調査

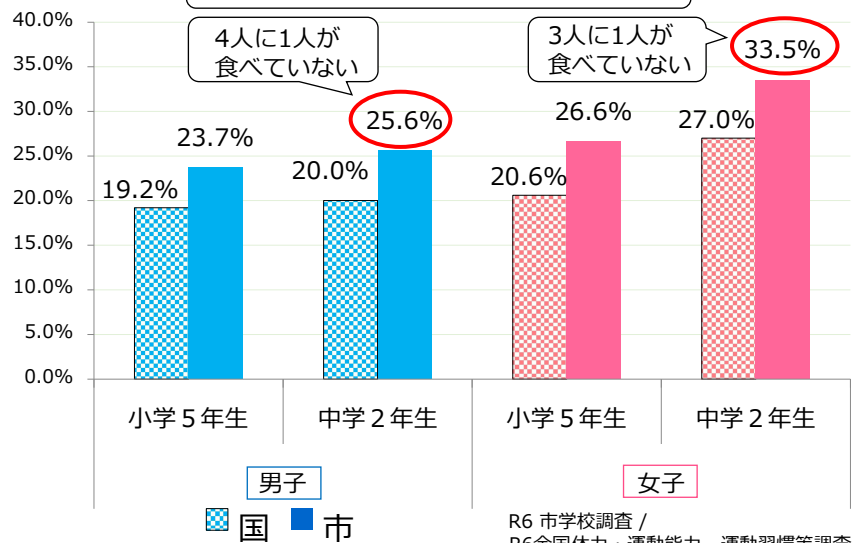
朝食を毎日食べていないこどもの割合

朝食を毎日食べないこどもが増えている。

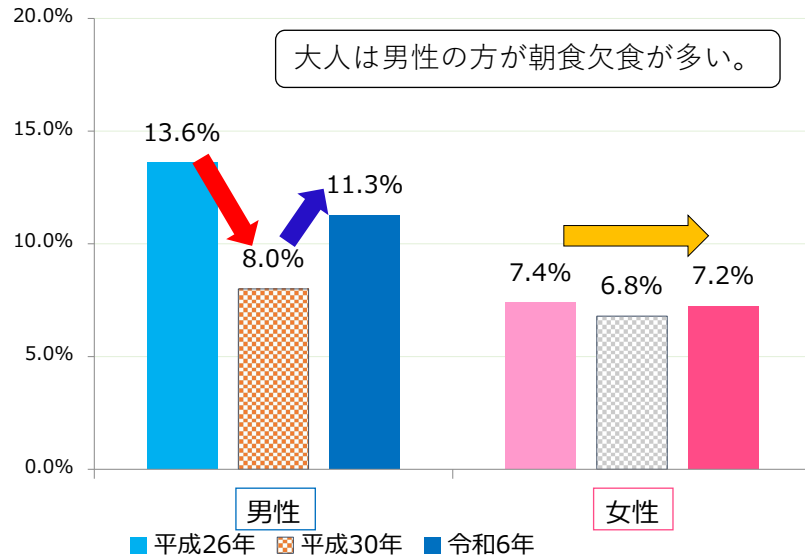


朝食を毎日食べていないこどもの割合

国よりも朝食を食べていない。

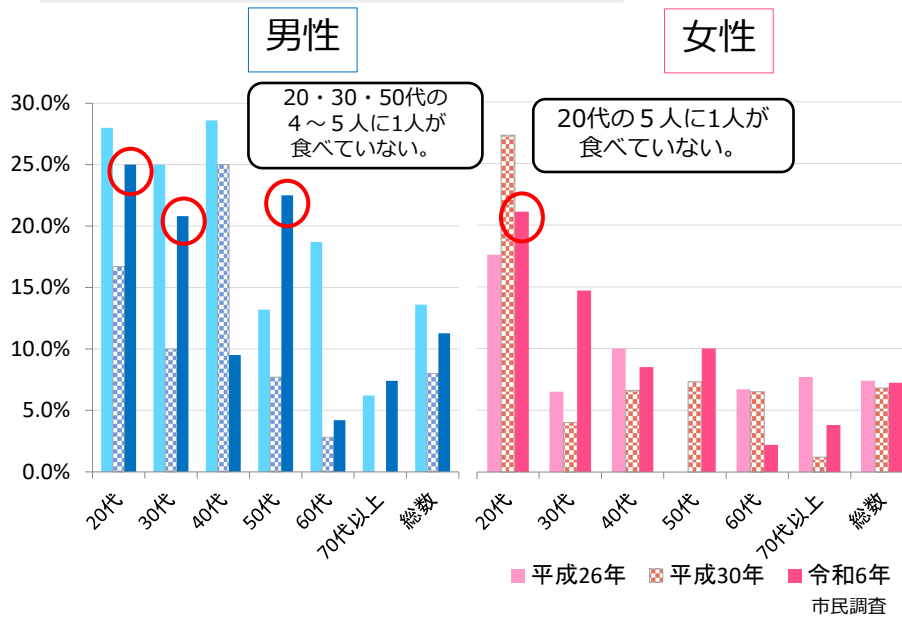


朝食を毎日食べていない者の割合



9

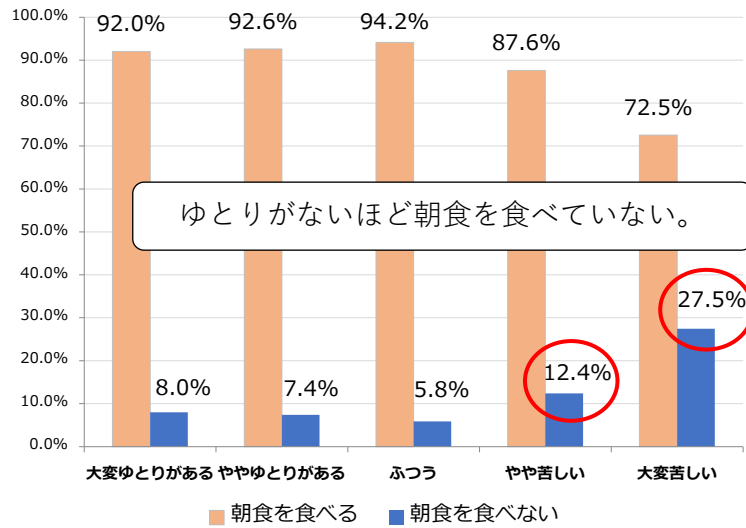
朝食を毎日食べていない者の割合



10

朝食と主観的経済状況の関係

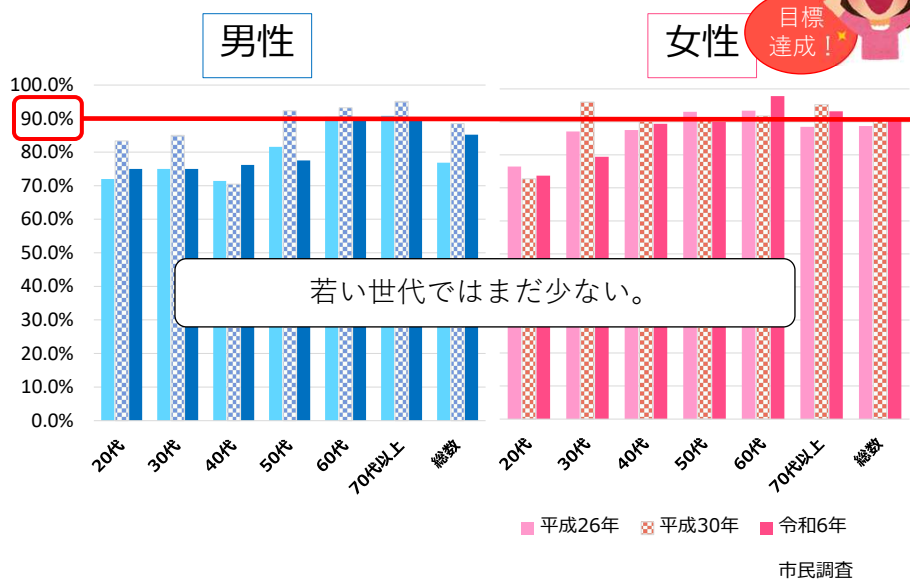
Q.「現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか」



R6市民調査

11

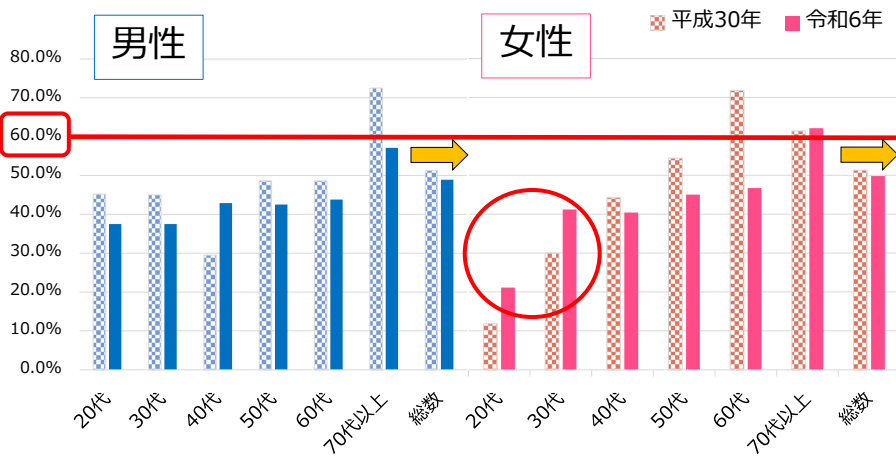
1日3食食べる者の割合



市民調査

12

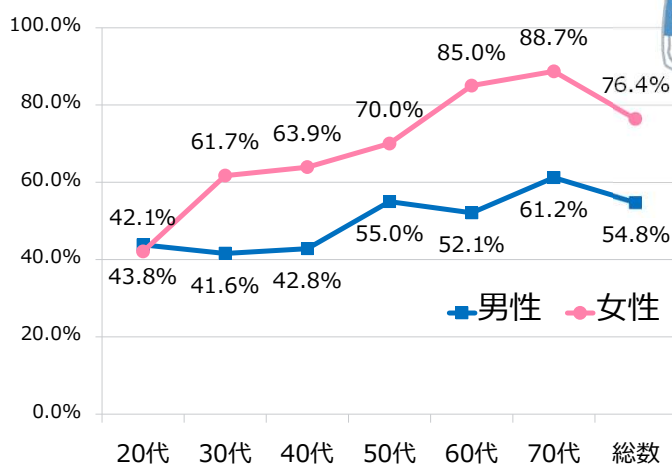
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が 1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合



若い女性で食事バランスが悪い。

市民調査

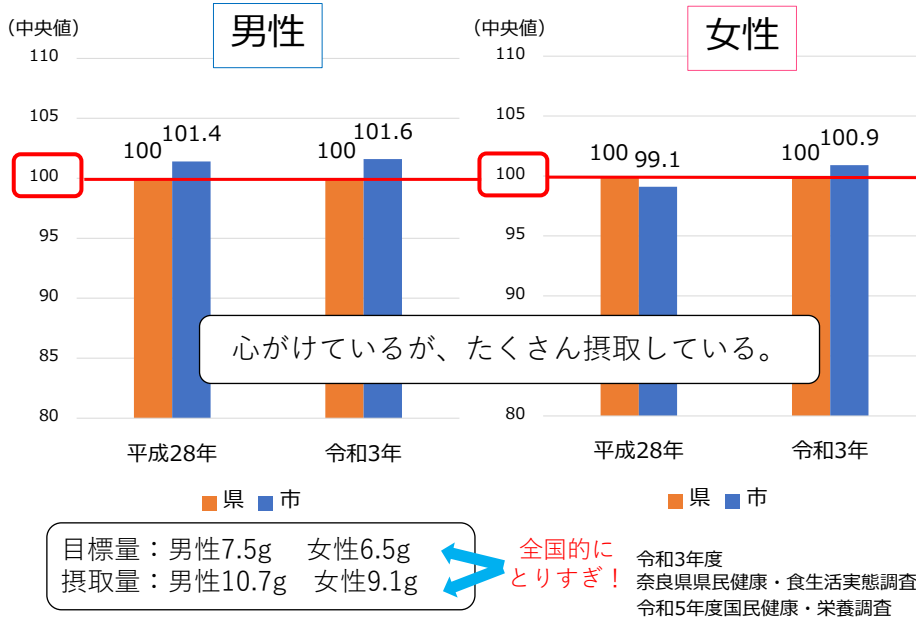
薄味を心がけている者の割合



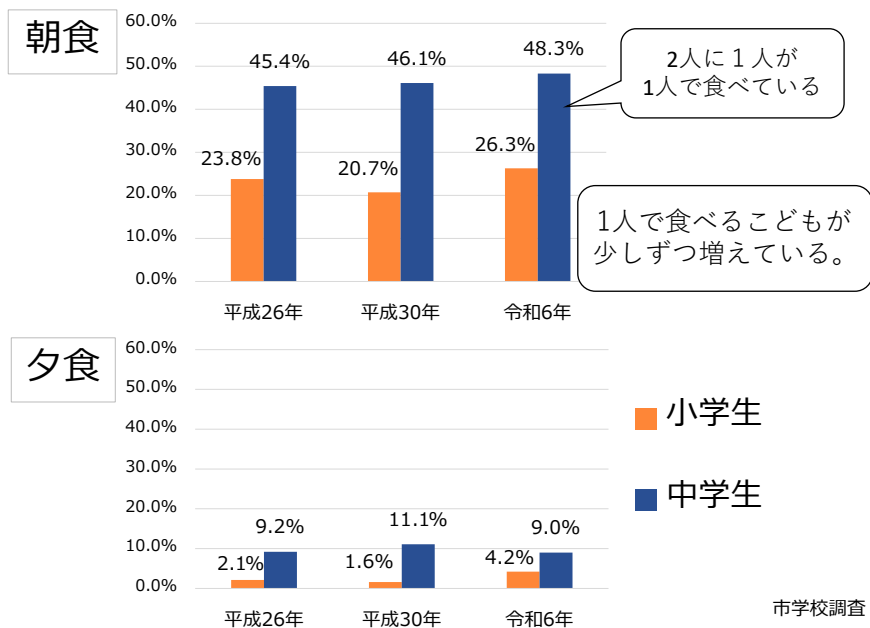
R6市民調査

女性の方が心がけている人が多い。年代が上がるにつれて心がけている。

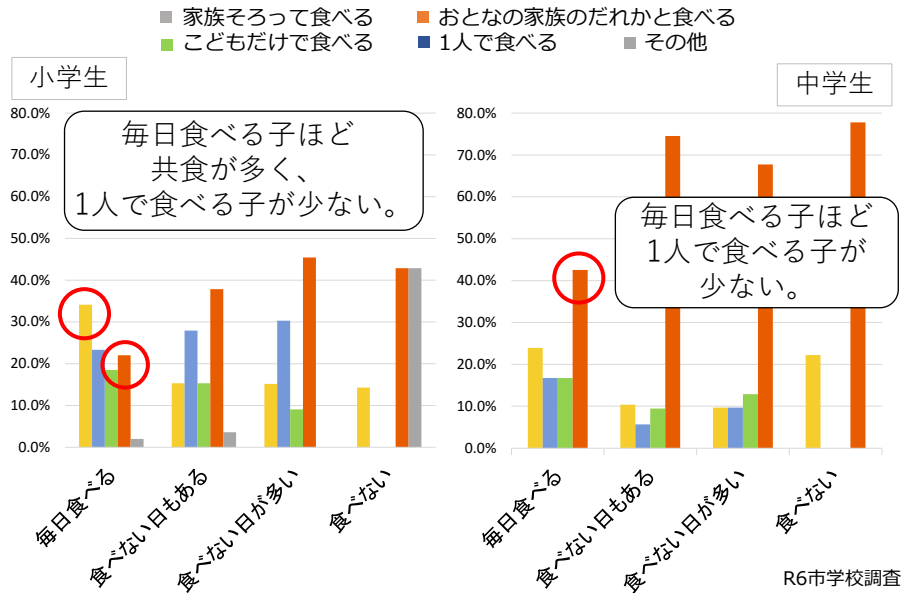
1日の食塩摂取量の状況（県調査）



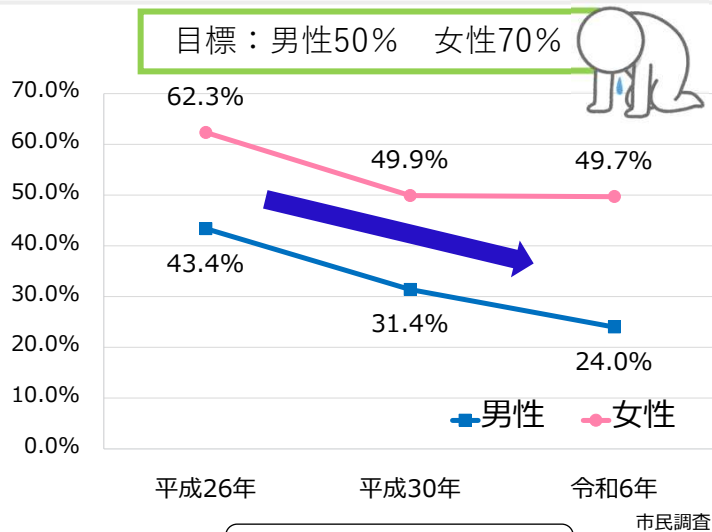
食事を1人で食べるこどもの割合



こどもの朝食と共食の関係

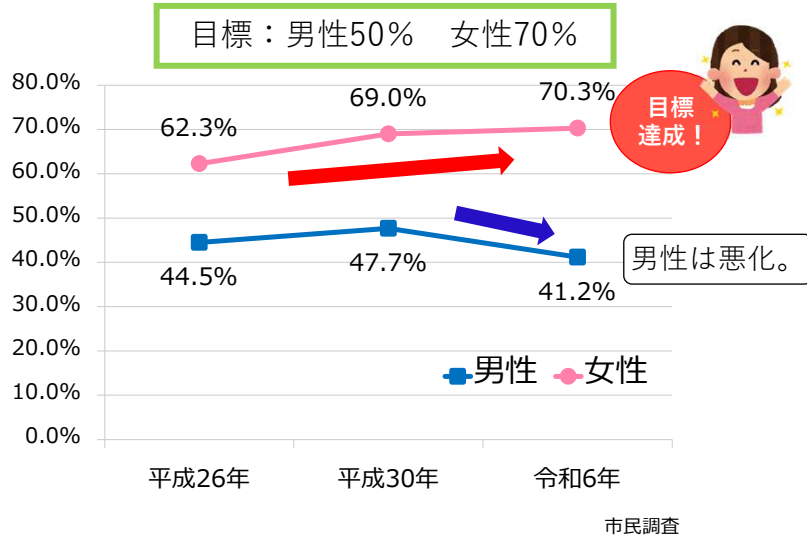


地元産農産物を選ぶよう意識している者の割合



男女とも悪化。

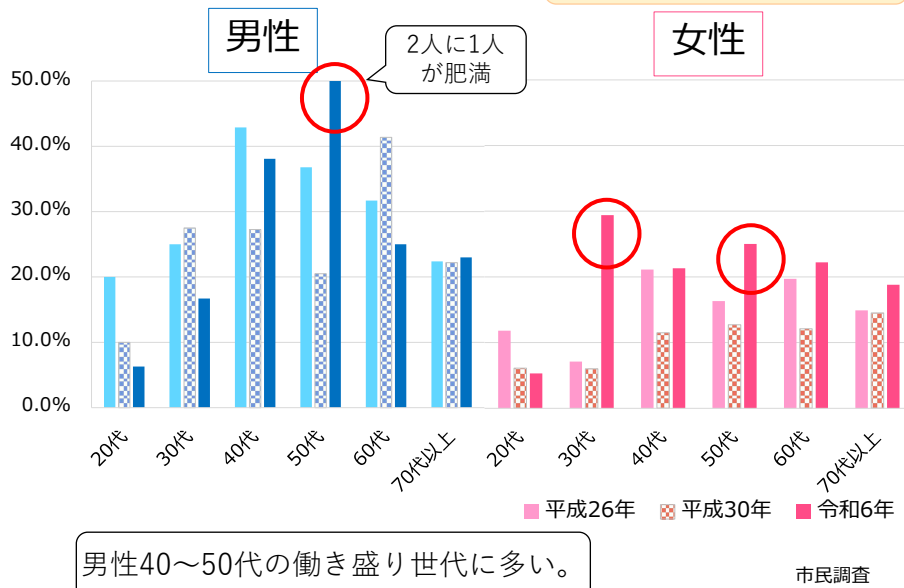
食品表示を見るようにしている者の割合



19

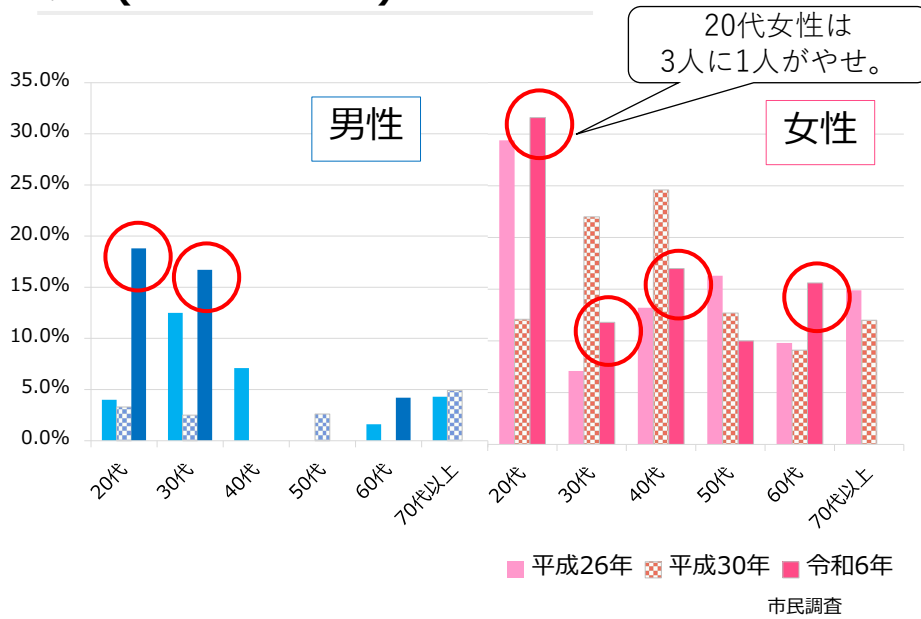
肥満者(BMI25以上)の割合

BMI = 体重kg / (身長m)²

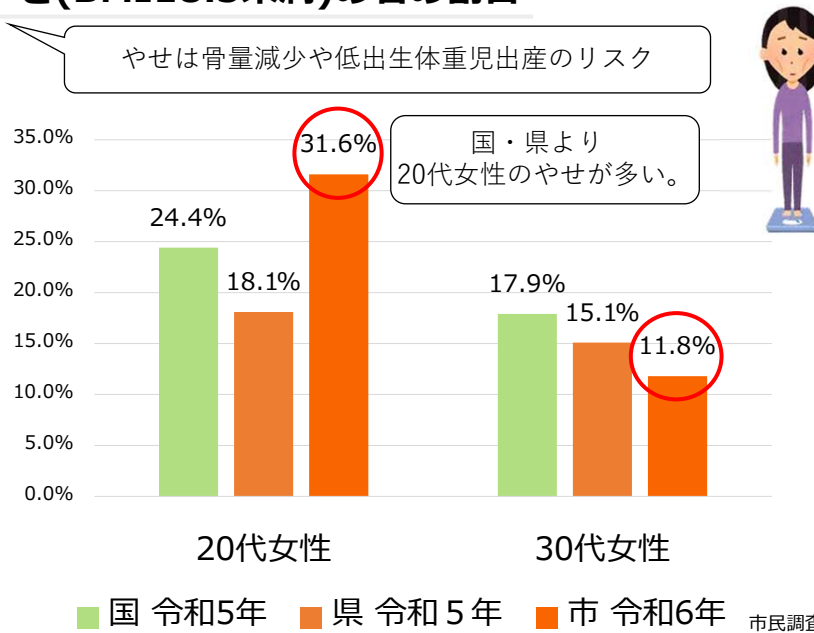


20

やせ(BMI18.5未満)の者の割合



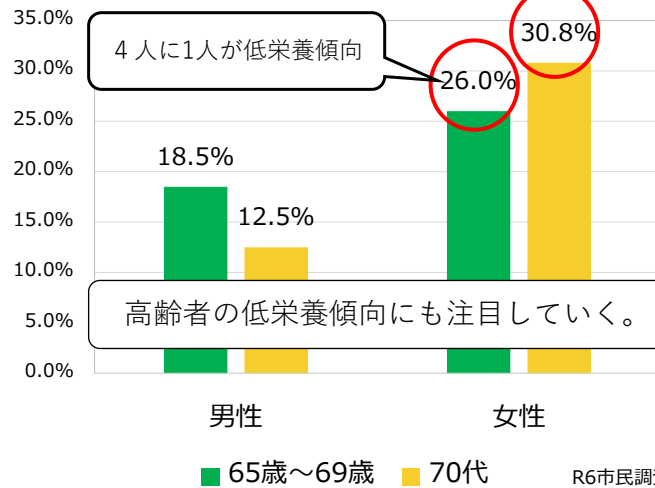
やせ(BMI18.5未満)の者の割合



低栄養傾向(BMI20以下)の者の割合の減少

低栄養はフレイルのリスク

3人に1人が低栄養傾向



23

指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
朝食を毎日食べていない子どもの割合の減少	小学生高学年 : 12.6%	25.3%	10%	悪化
	中学生 : 12.0%	29.8%	10%	悪化
1日3食食べる者の割合の増加	男性 : 76.8%	85.2%	90%	改善したが目標達成ならず
	女性 : 88.7%	90.3%	90%	目標達成
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	男性 : —	48.9%	60%	悪化
	女性 : —	49.8%	60%	悪化
野菜摂取量が両手一杯(120g)未満の者の割合の減少	男性 : 40.8%	30.4%	25%	改善したが目標達成ならず
	女性 : 34.9%	22.8%	25%	目標達成

24

指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
共食の増加 (食事を1人で食べる こどもの割合の減少)	朝食 小学生高学年 : 23.8%	26.3%	20%	悪化
	朝食 中学生 : 45.4%	48.3%	40%	悪化
	夕食 小学生高学年 : 2.1%	4.2%	1.0%	悪化
	夕食 中学生 : 9.2%	9.0%	7.5%	変化なし

25

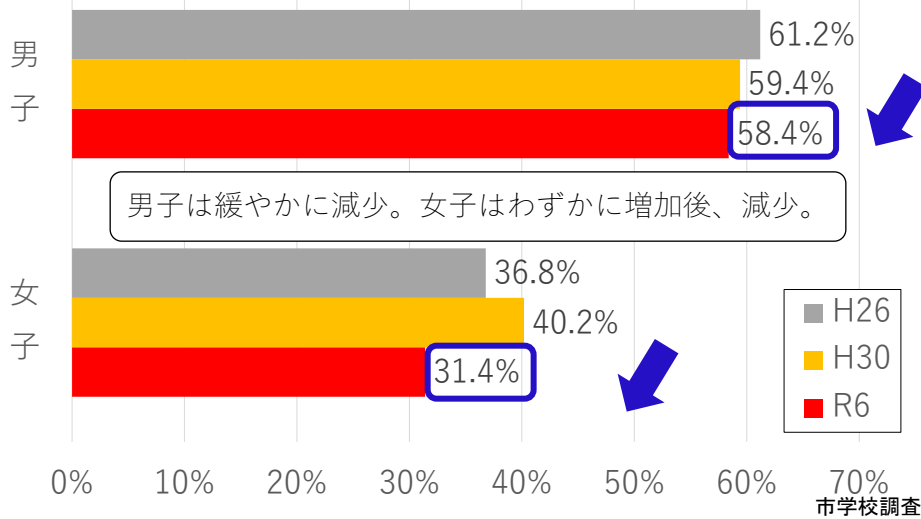
指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
地元農産物を選ぶ ように意識している 者の割合の増加	男性: 43.4%	24.0%	50%	悪化
	女性 : 62.3%	49.7%	70%	悪化
食品表示を見る者の 割合の増加	男性 : 44.5%	41.2%	50%	悪化
	女性 : 62.3%	70.3%	70%	目標達成
肥満者の割合の減少 (BMI 25以上)	20歳~60歳代男性 : 31.4%	30.2%	28%	変化なし
	40歳~60歳代女性 : 18.8%	22.7%	16%	悪化
やせの割合の減少 (BMI 18.5未満)	20歳代女性 : 29.4%	31.6%	20%	悪化
	65歳以上高齢者 : 13.8%	10.0%	10%	目標達成

26

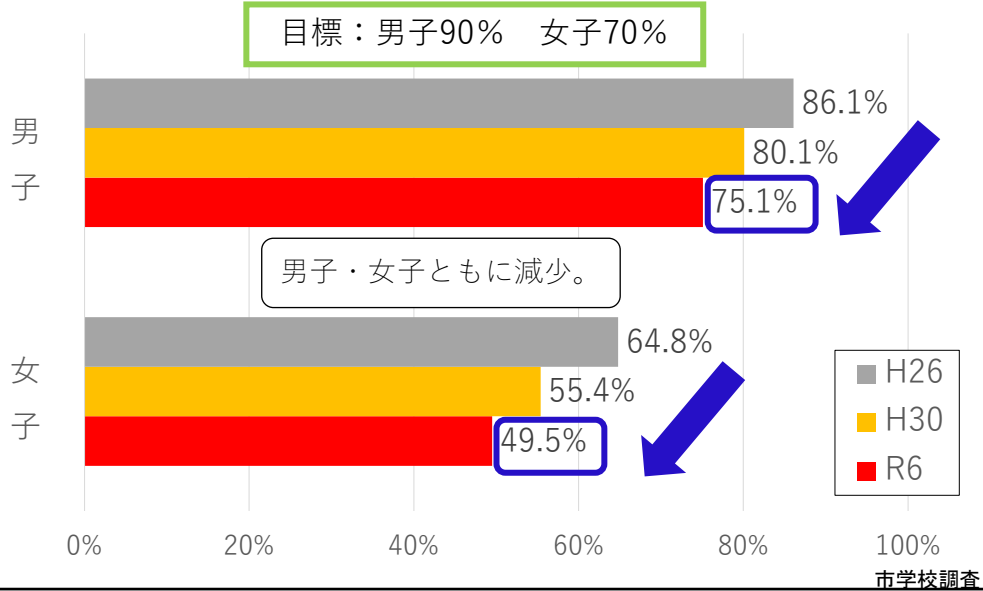
～運動・身体活動～

体育の時間以外で運動をしている子どもの割合 (市・小学5年生)

目標：男子65% 女子40%

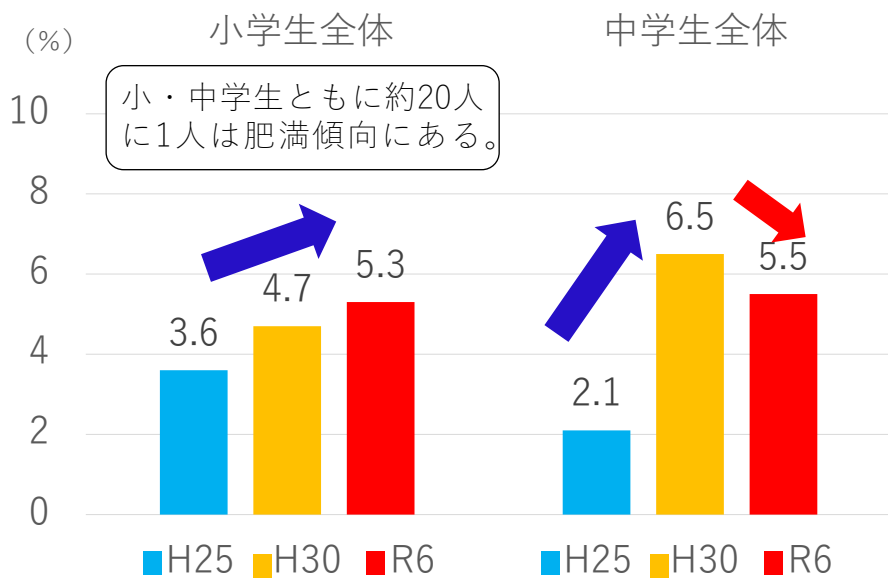


体育の時間以外で運動をしている子どもの割合 (市・中学2年生)



29

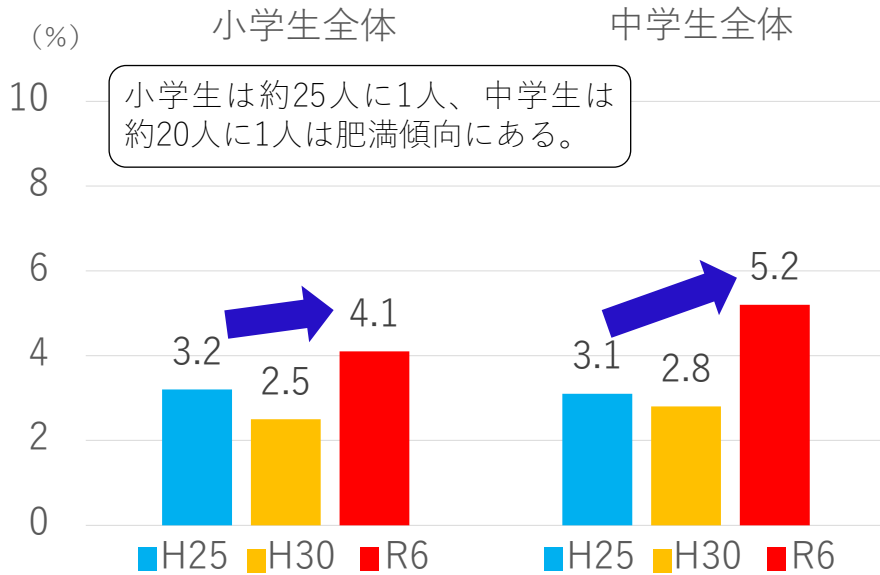
肥満傾向にある児童・生徒の割合(市・男子)



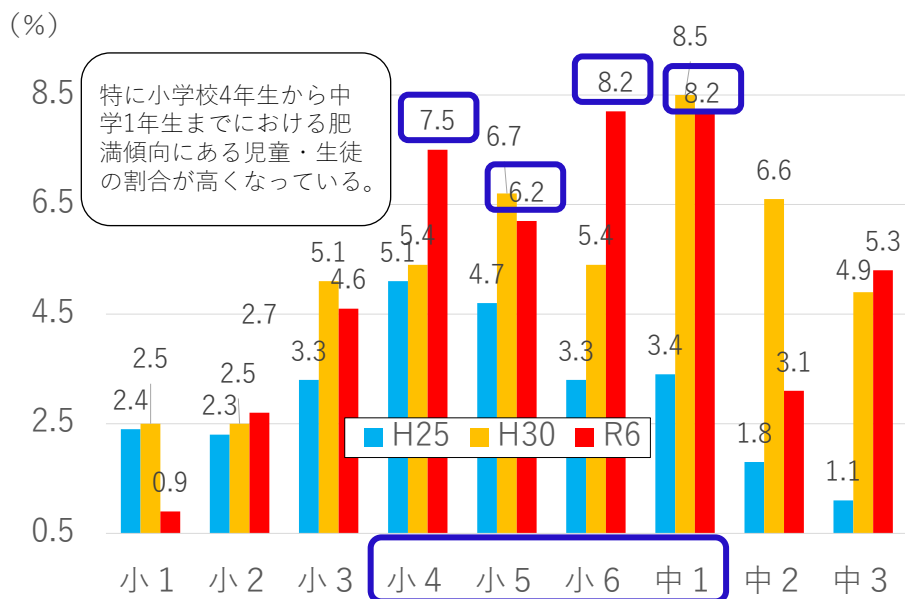
市養護教育部会

30

肥満傾向にある児童・生徒の割合(市・女子)



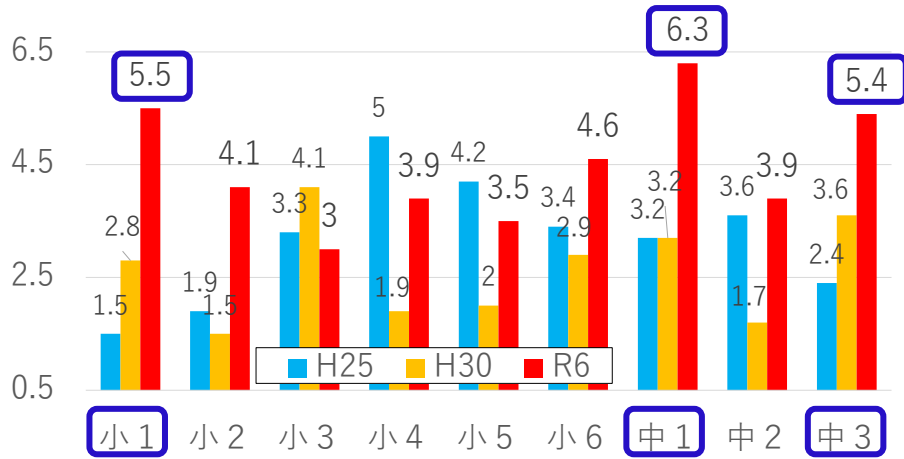
肥満傾向にある児童・生徒の割合(市・男子)



肥満傾向にある児童・生徒の割合(市・女子)

(%)

特に小学1年生と中学1年生、中学3年生において肥満傾向にある児童生徒の割合が高くなっている。

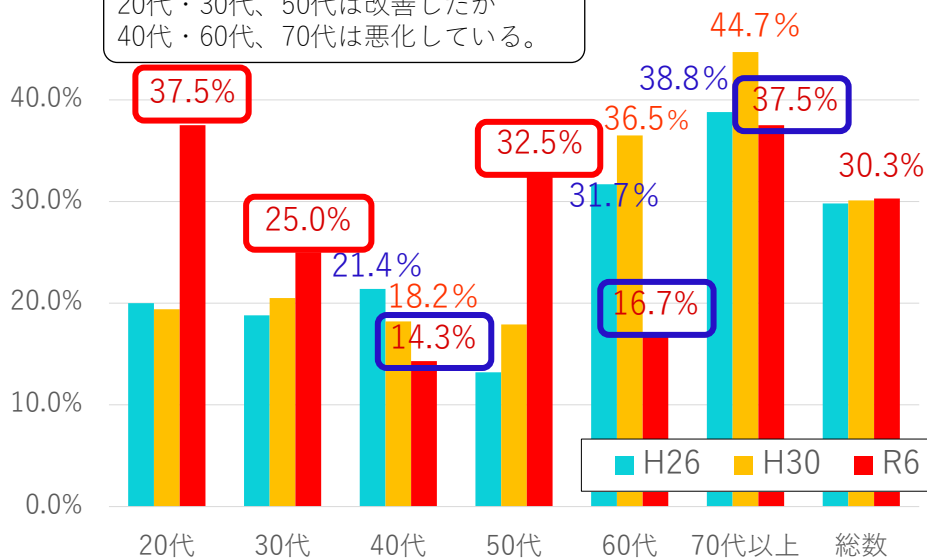


市養護教育部会

33

男性の運動習慣者の割合(市)

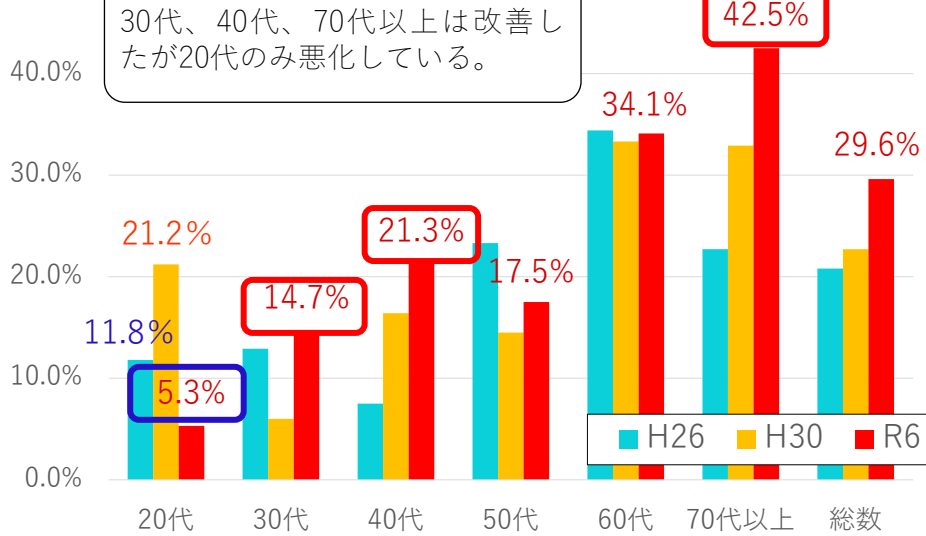
20代・30代、50代は改善したが40代・60代、70代は悪化している。



市民調査

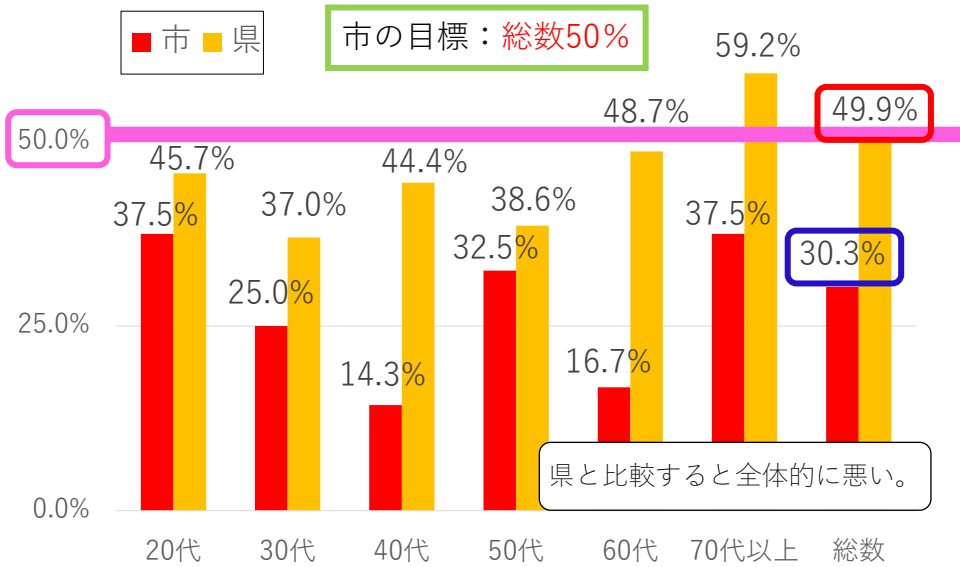
34

女性の運動習慣者の割合(市)



35

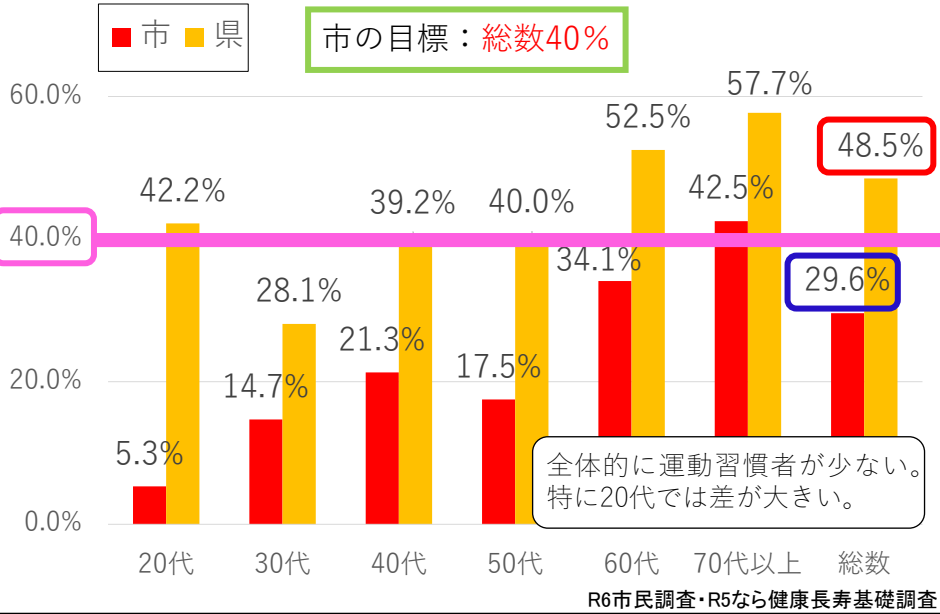
男性の運動習慣者の割合(R6市・R5県)



R6市民調査・R5なら健康長寿基礎調査

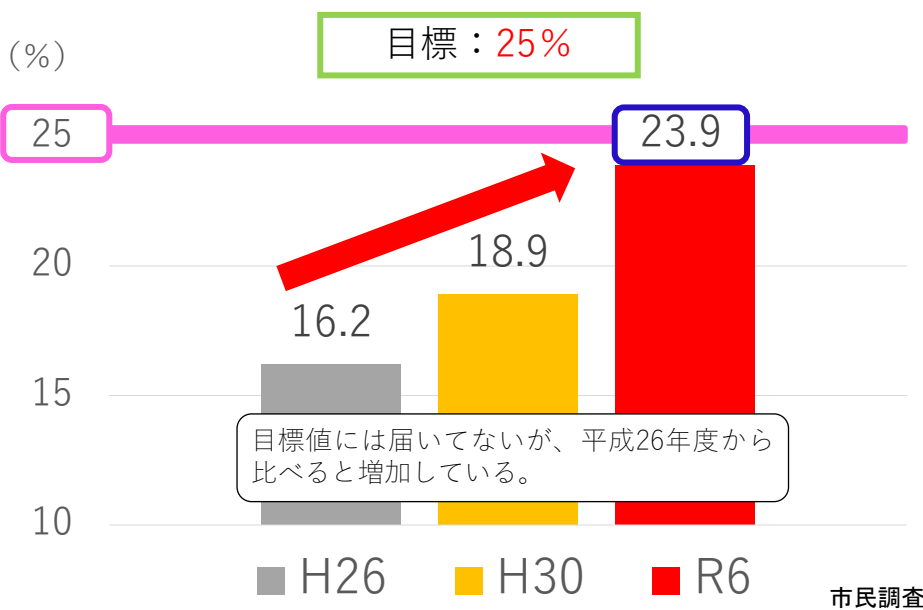
36

女性の運動習慣者の割合(R6市・R5県)



37

30～50代男性の運動習慣者の割合の増加(市)



38

20～30代女性の運動習慣者の割合の増加(市)

(%)

目標：20%

20

15

12.3

9.9

10.0

10

目標値との差が10%あり、平成26年度から低下している。

5

■ H26

■ H30

■ R6

市民調査

39

男性の日常生活での歩数(総数)

(歩)

目標：6600歩

6600

5400

5648

4363

4588

4200

3000

目標値6600歩に、どの年度も達成していないが、コロナ禍を経て、令和6年度は改善した。

■ H26

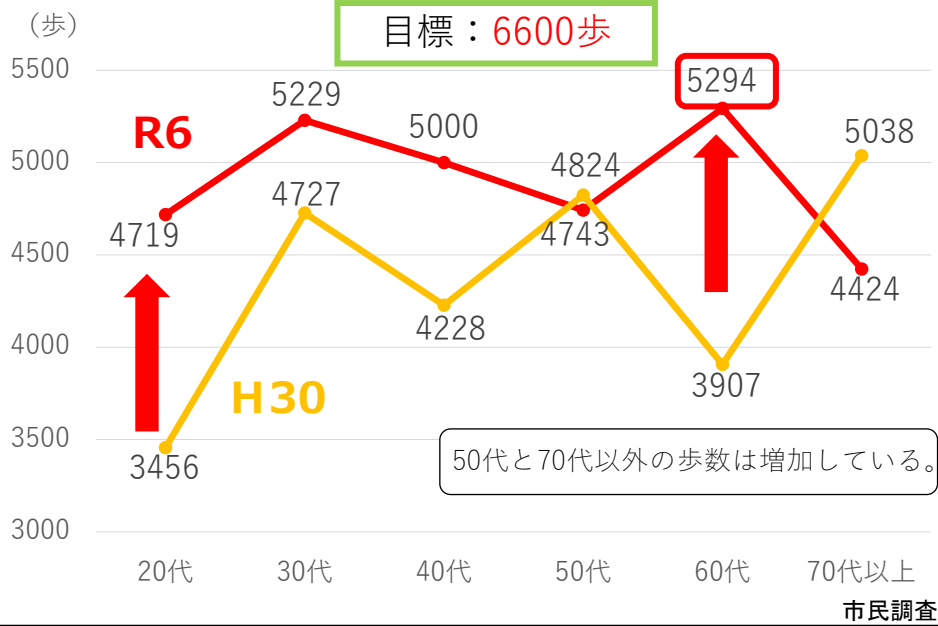
■ H30

■ R6

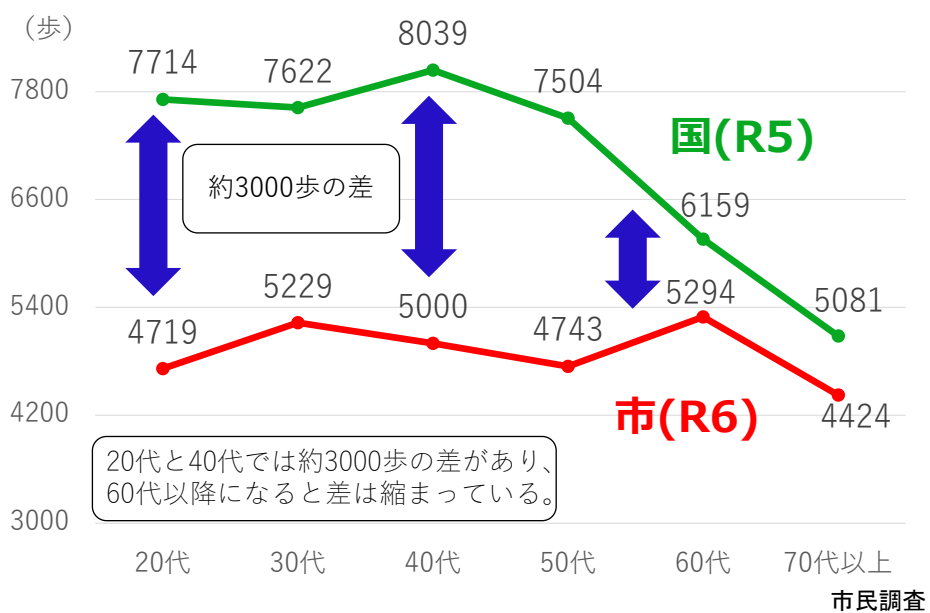
市民調査

40

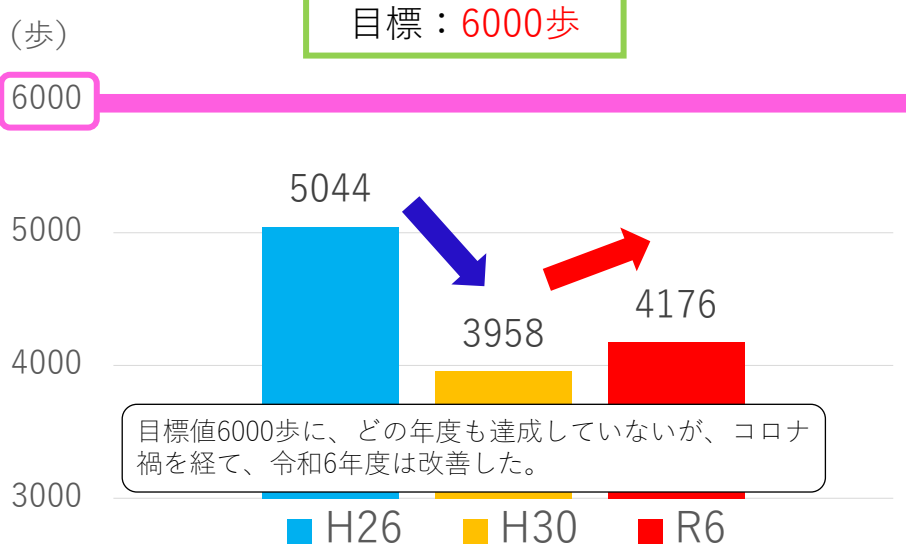
男性の日常生活での歩数(市)



男性の日常生活での歩数(R6市・R5国)



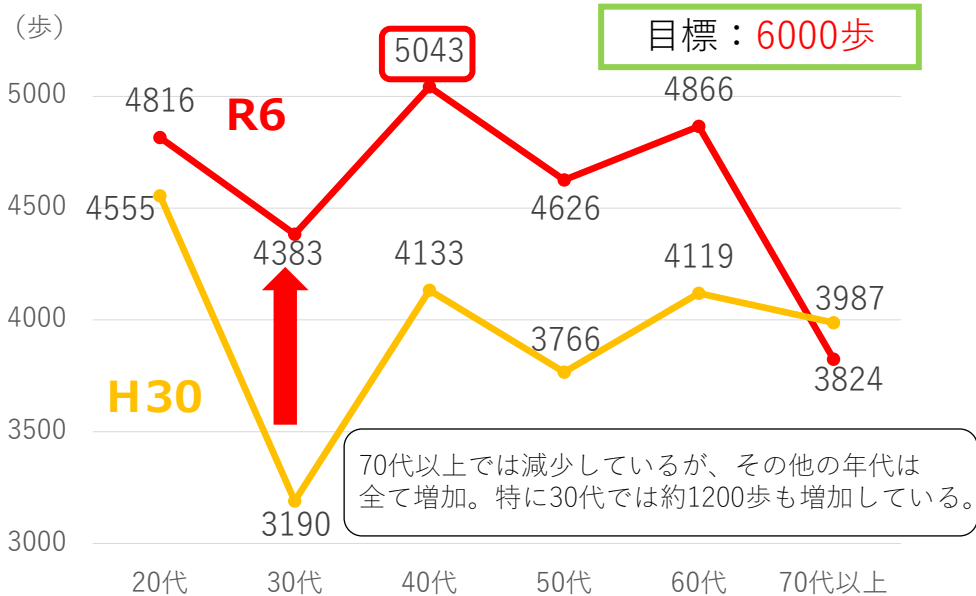
女性の日常生活での歩数(総数)



市民調査

43

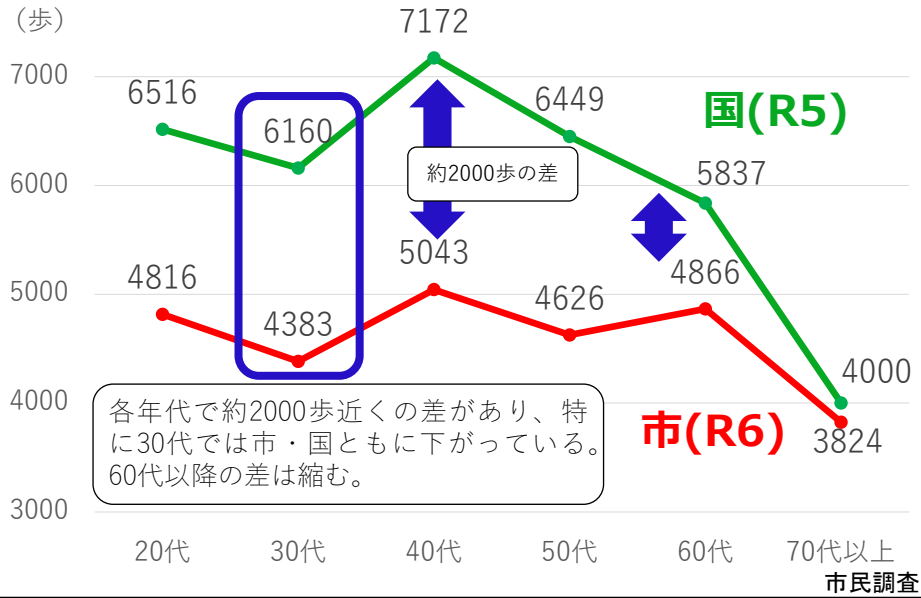
女性の日常生活での歩数(市)



市民調査

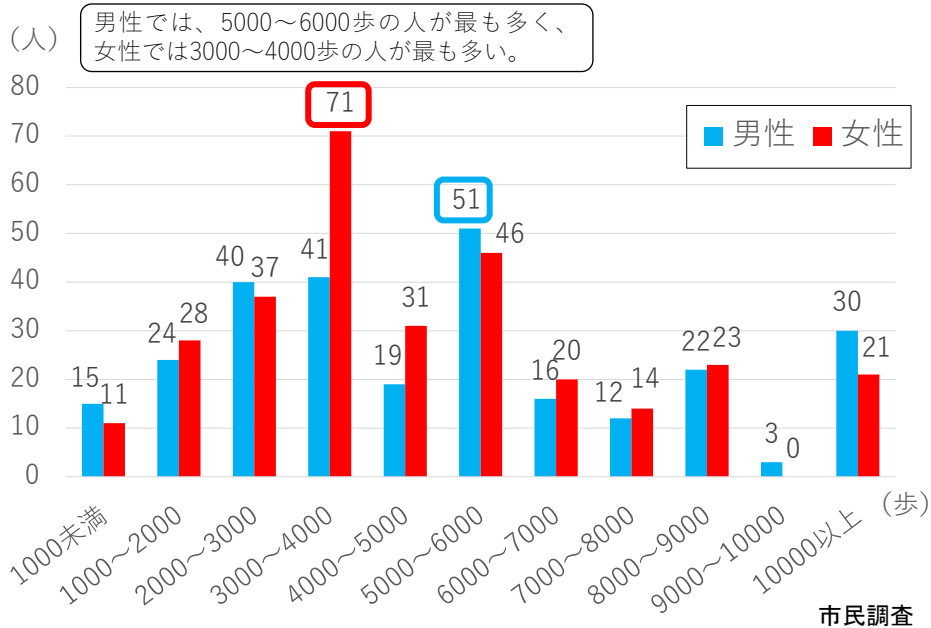
44

女性の日常生活の歩数(R6市・R5国)



45

男女の1日の歩数の分布(R6)

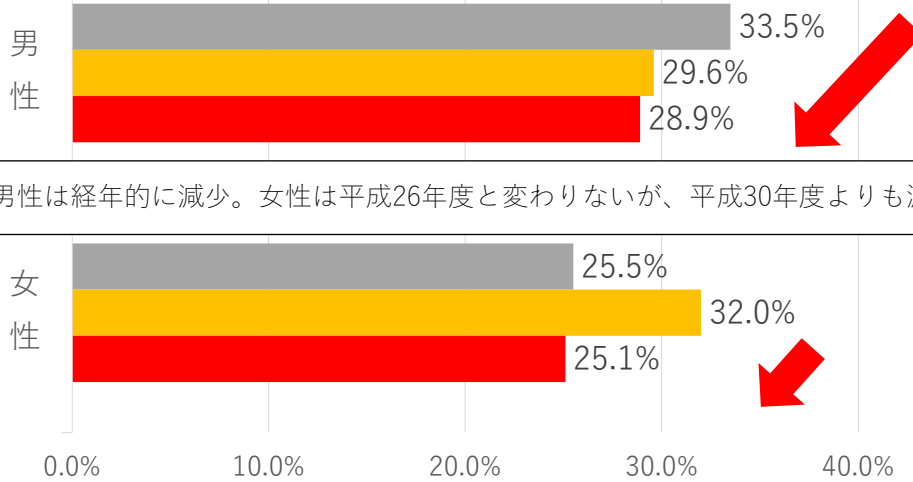


46

1日3000歩未満の人の割合の減少

目標：減少

■ H26 ■ H30 ■ R6



男性は経年的に減少。女性は平成26年度と変わらないが、平成30年度よりも減少。

市民調査

47

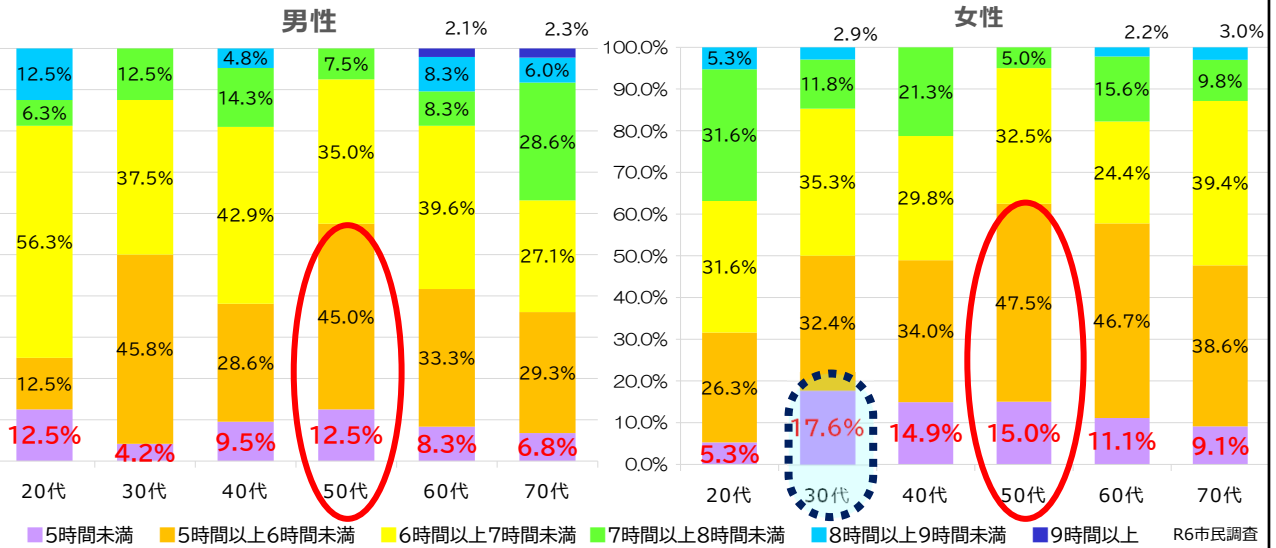
指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加	小学高学年男子 61.2%	58.4%	65%	悪化
	小学高学年女子 36.8%	31.4%	40%	悪化
	中学生男子 86.1%	75.1%	90%	悪化
	中学生女子 64.8%	49.5%	70%	悪化
運動習慣者の割合の増加	男性：29.8%	30.3%	50%	改善したが目標達成ならず
	女性：20.8%	29.6%	40%	改善したが目標達成ならず

48

指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
30～50代男性の運動習慣者の割合の増加	16.2%	23.9%	25%	改善したが目標達成ならず
20～30代女性の運動習慣者の割合の増加	12.3%	10%	20%	悪化
日常生活における歩数の増加	男性：5,648歩	4,588歩	6,600歩	悪化
	女性：5,044歩	4,176歩	6,000歩	悪化
1日3000歩未満の人の割合の減少	男性：33.5%	28.9%	減少	目標達成
	女性：25.5%	25.1%		目標達成

～休養・こころ～

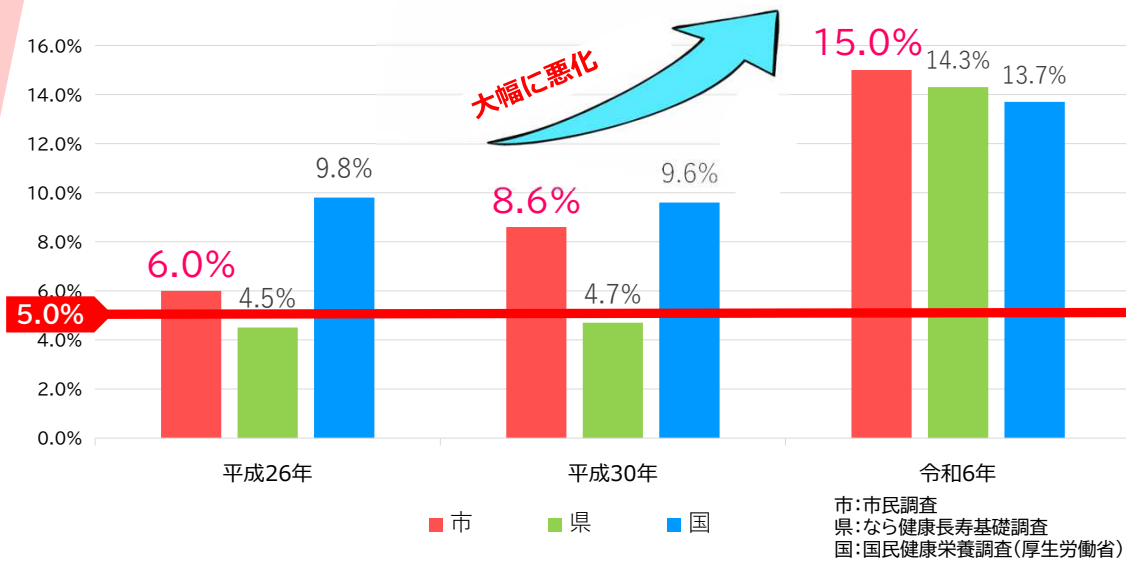
大和郡山市民の平均睡眠時間



- ・男女ともに睡眠時間が6時間未満の割合が最も多いのは50代。
- ・女性は30～50代で5時間未満の割合が高く、中でも30代は17.6%となっており、特に子育て世代で睡眠時間の確保が難しい状況がうかがえる。

51

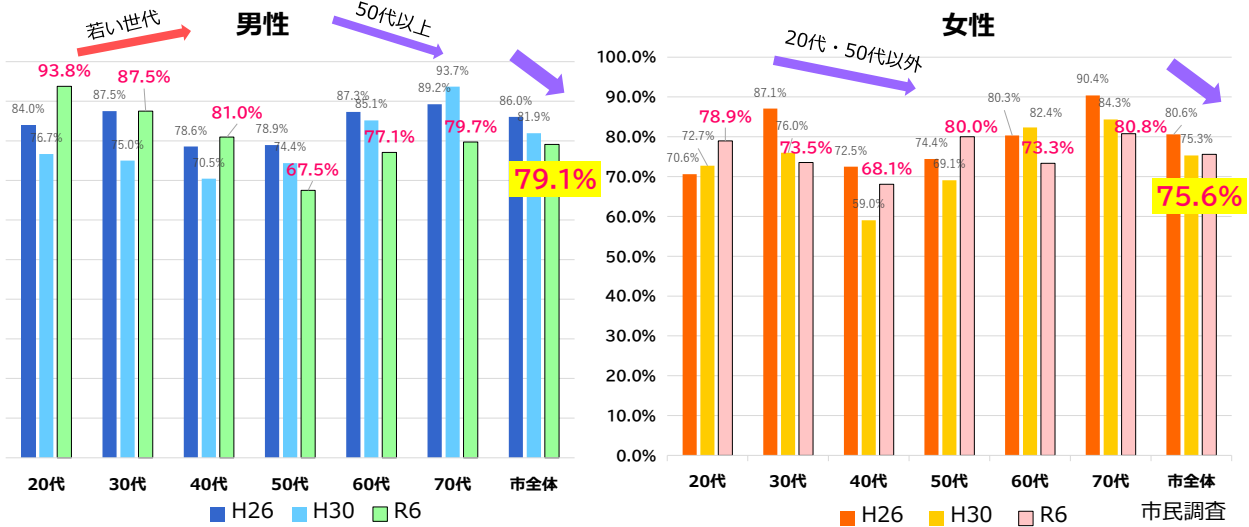
◆睡眠時間が5時間未満の者の割合の減少（40代・50代女性）



- ・市・県・国ともに睡眠時間が5時間未満の人の割合が平成26年から大幅に増加している。市は県や国と比べても5時間未満の人の割合が高い。
- ・計画の目標値は5%だったので、目標達成できなかった。

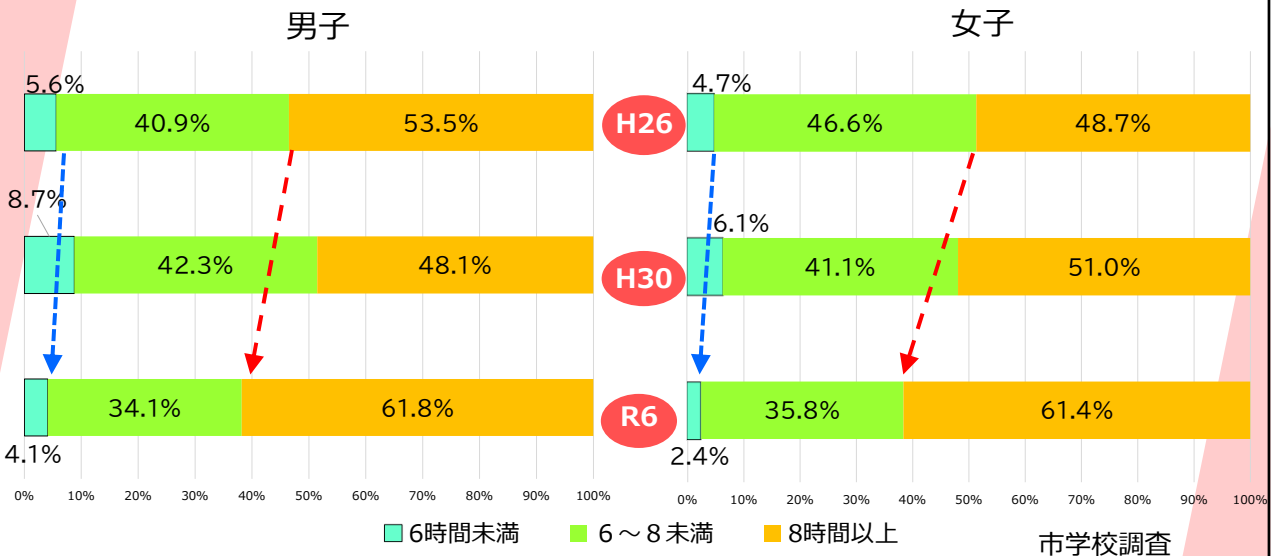
52

◆睡眠で休養が取れている者の割合の増加



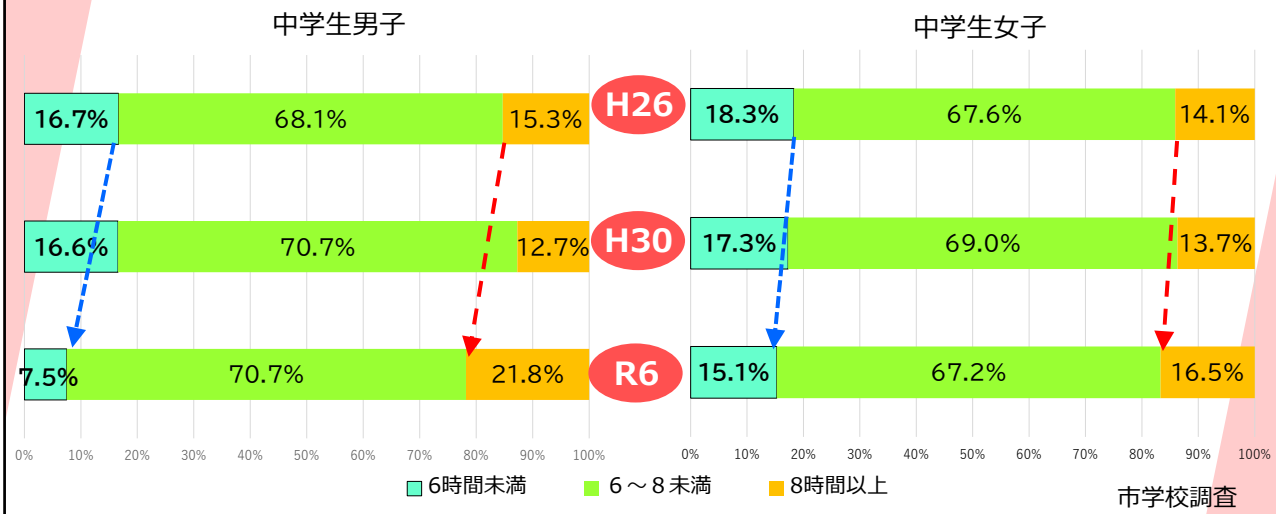
- ・男性：20～40代の若い世代は、H26より休養をとれている者の割合が増加したが、50代以上はH26を下回った。
- ・女性：20代・50代以外の年代でH26を下回った。
- ・市全体では男性79.1%・女性75.6%でH26から悪化しており、目標の男性90%・女性85%にいたらず男女ともに目標は達成できなかった。
- ・新型コロナや働き方改革での人手不足・女性の社会進出などの影響で多忙となり、十分な睡眠時間の確保が困難なのかもしれない。

小学生の平均睡眠時間（市内小学5年生）



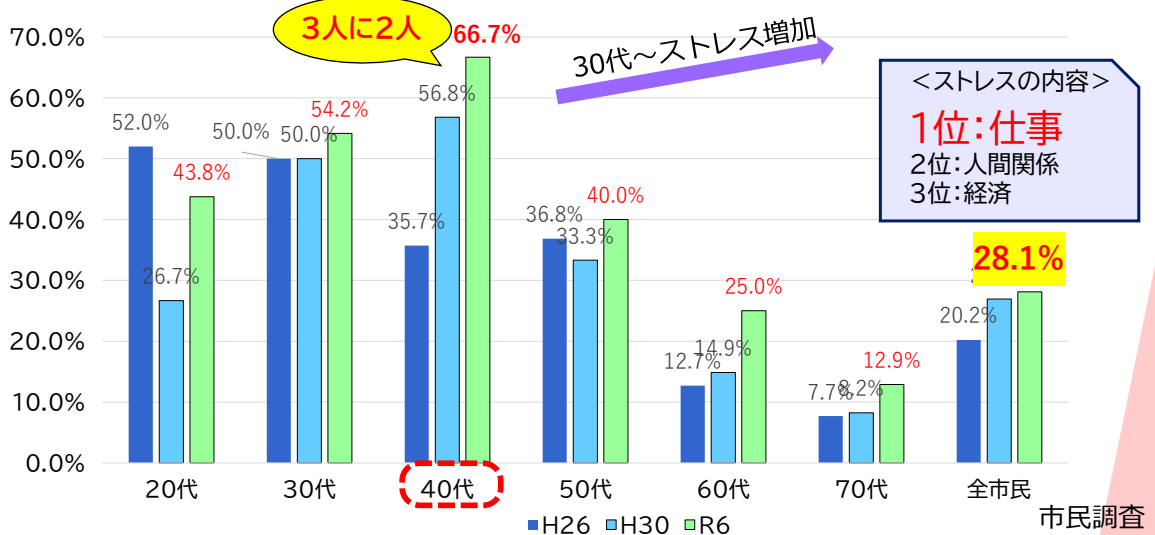
H26から比べて男女ともに8時間以上睡眠をとる子どもの割合が増加し、6時間未満の割合が減少している。

◆睡眠時間が6時間未満の者の割合の減少（中学生）



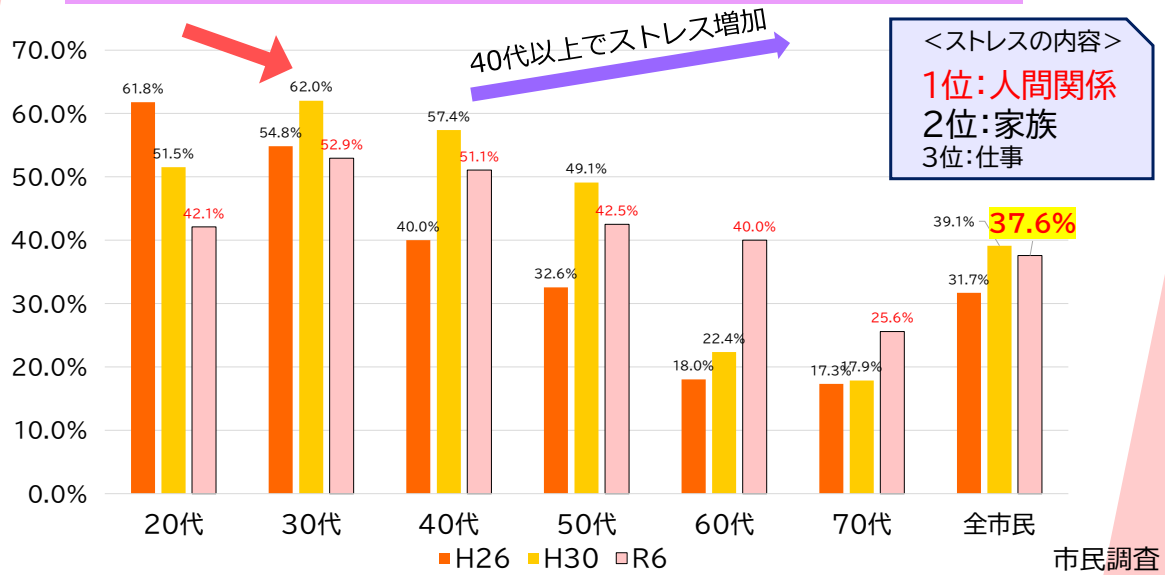
- ・H26から比べて男女ともに8時間以上睡眠をとる子どもの割合が増え、6時間未満の割合が減っている。
- ・指標の「睡眠時間が6時間未満の者の割合の減少」の目標値は、男子15%・女子16%なので、男女ともに目標を達成することができた。
- ・スマホの普及や習い事などで忙しくなっているとされているなか、思いのほかよく眠れている子どもが多いことがわかった。家庭や学校での取り組みや意識の変化が好影響となったのではないかと。

◆最近1か月以内にストレスを感じた者の割合の減少（男性）



- ・30代以上のすべての年齢層でH26よりストレスを感じている人が増加。40代が最も高く3人に2人が何らかのストレスを抱えていることがわかった。
- ・市全体の結果は28.1%で指標の目標の18%を上回り、目標達成できなかった。
- ・ストレスの内容としては、20～60代までのすべての年代において「仕事」が最も多く、男性の生活において、仕事の占める割合が大きいことがうかがえた。

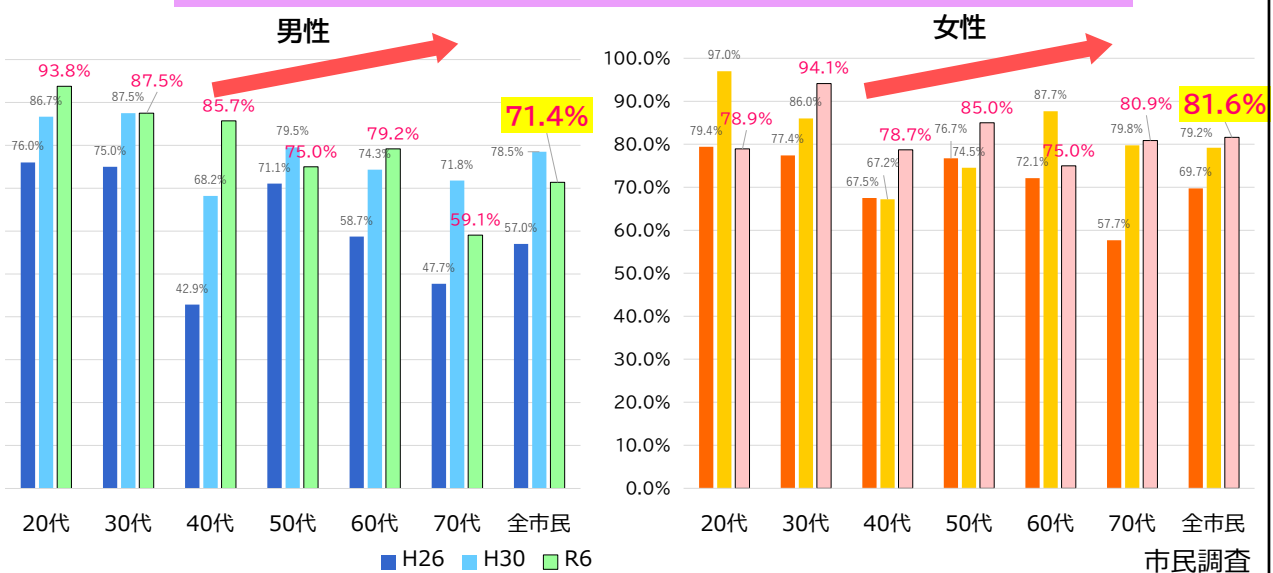
◆最近1か月以内にストレスを感じた者の割合の減少（女性）



<ストレスの内容>
 1位:人間関係
 2位:家族
 3位:仕事

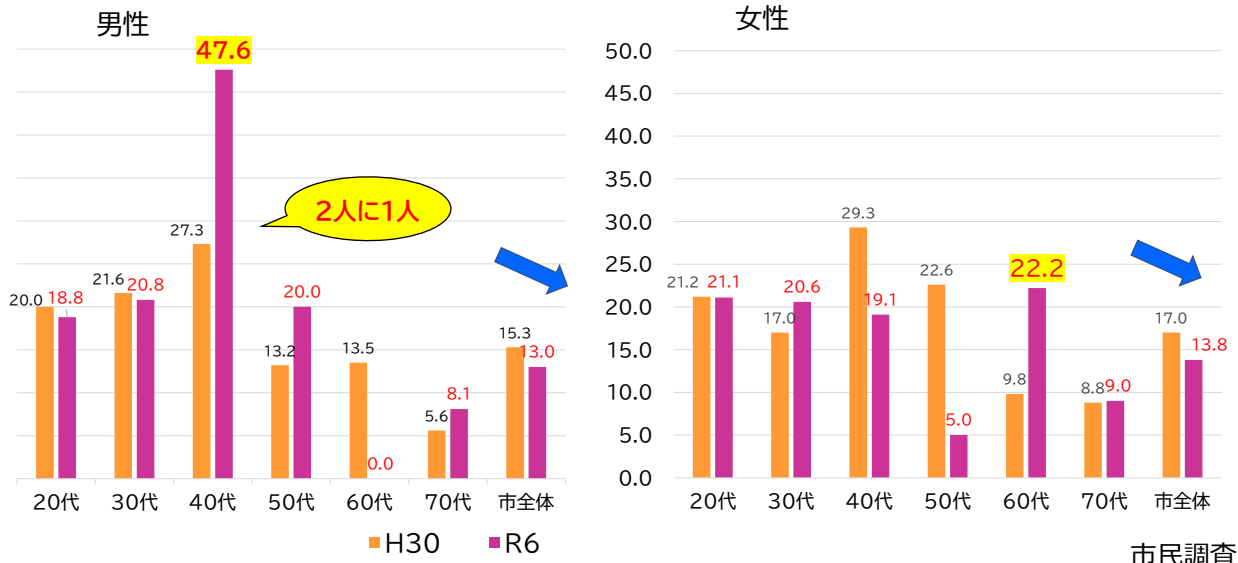
- ・40代以上の年齢で、H26と比べるとストレスを感じている人が増えていることがわかった。
- ・市全体では37.6%で指標の目標の29%を上回り、目標達成できなかった。
- ・ストレスの内容としては、すべての年代において「人間関係」「家族」と回答する方が多く、女性の社会進出の影響か、「仕事」と回答する人も多くみられた。

◆自分なりのストレス解消法のある者の割合の増加



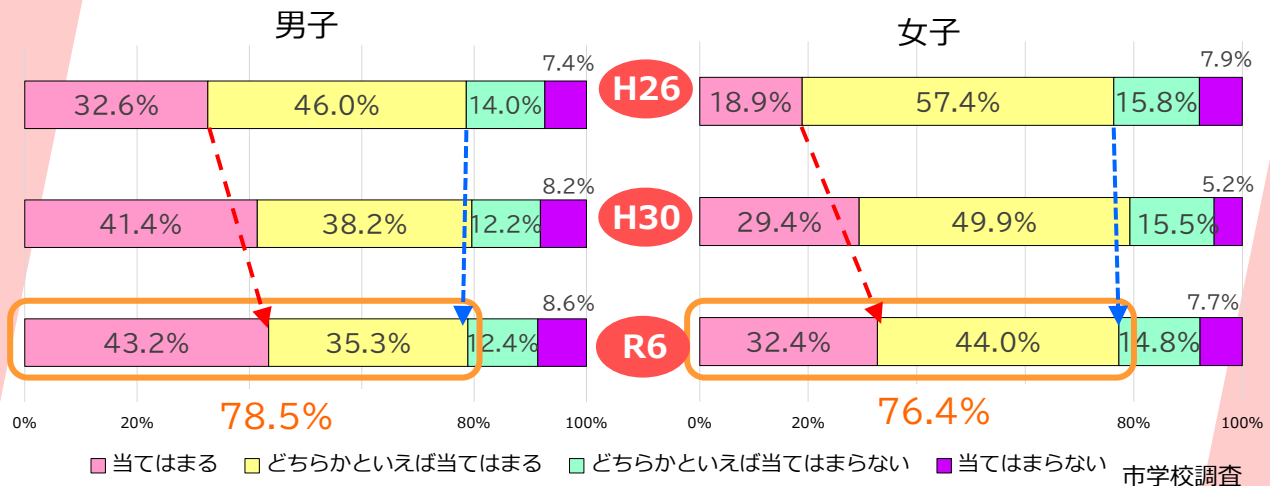
- ・男女ともに、ほとんどすべての年代でストレスの解消法があると答えた人がH26より増えていることがわかった。ストレスを感じるが増えた分、各自が何らかの形で解消を試みているのではないかと。
- ・全年齢では男性71.4%・女性81.6%となっており、目標値の男性70%・女性80%を上回り男女ともに目標を達成できた。

こころの健康が不良な人の割合（K6が9点以上の人割合）



・男女ともに市全体では数値が改善していた。しかし、40代男性の割合がかなり高く、2人に1人が心の状態が悪い可能性があることがわかった。ストレスを感じている人の割合も40代男性が一番高かったので、ストレスと心の状態は強く関係していることがうかがえた。

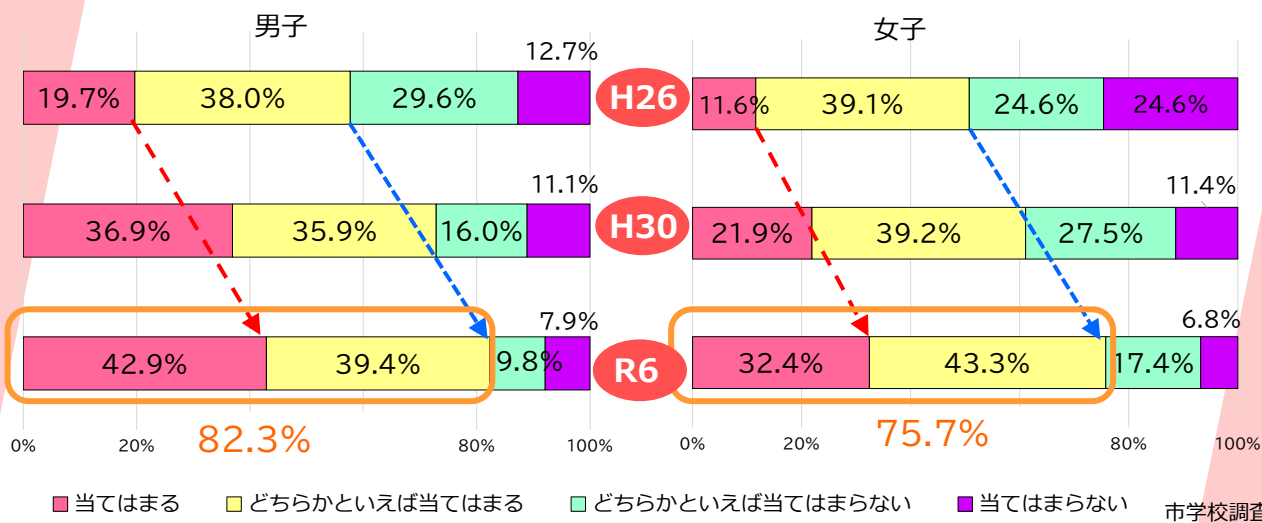
◆自分を大切に思う者の割合の増加（小学生高学年）



<市内の小学5年生への「自分にはよいところがあるか」という質問の回答結果>

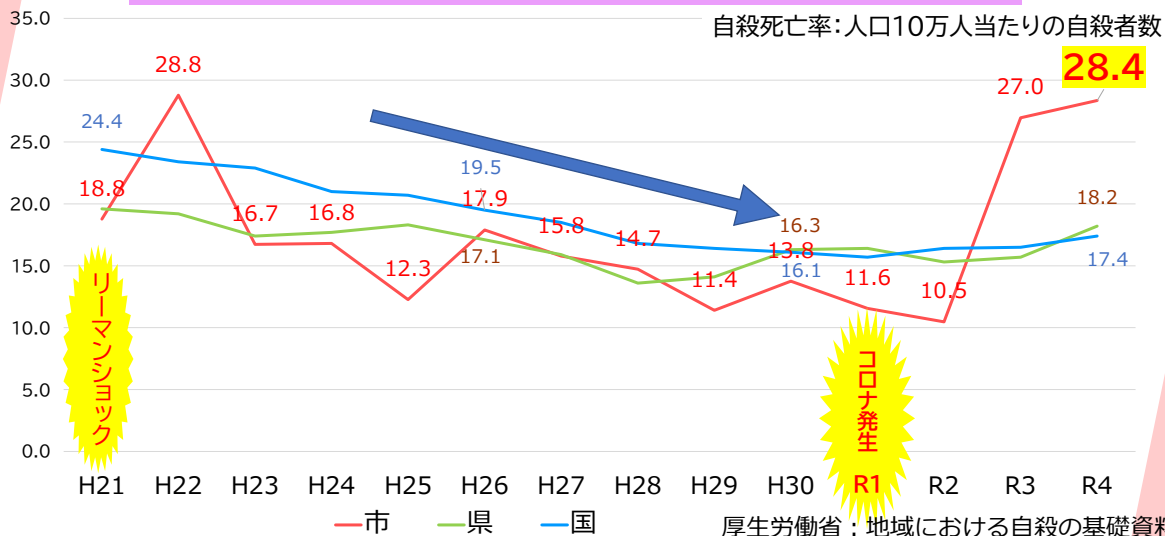
- ・男女ともに「当てはまる」と答えた生徒の割合は増加していたが、「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と答えた生徒の割合はほぼ横ばいとなった。
- ・指標の「自分を大切に思う者」の割合は、男子が78.5%・女子が76.4%だった。目標値は男女ともに80%だったので、わずかに至らず目標達成とはならなかった。

◆自分を大切に思う者の割合の増加（中学生）

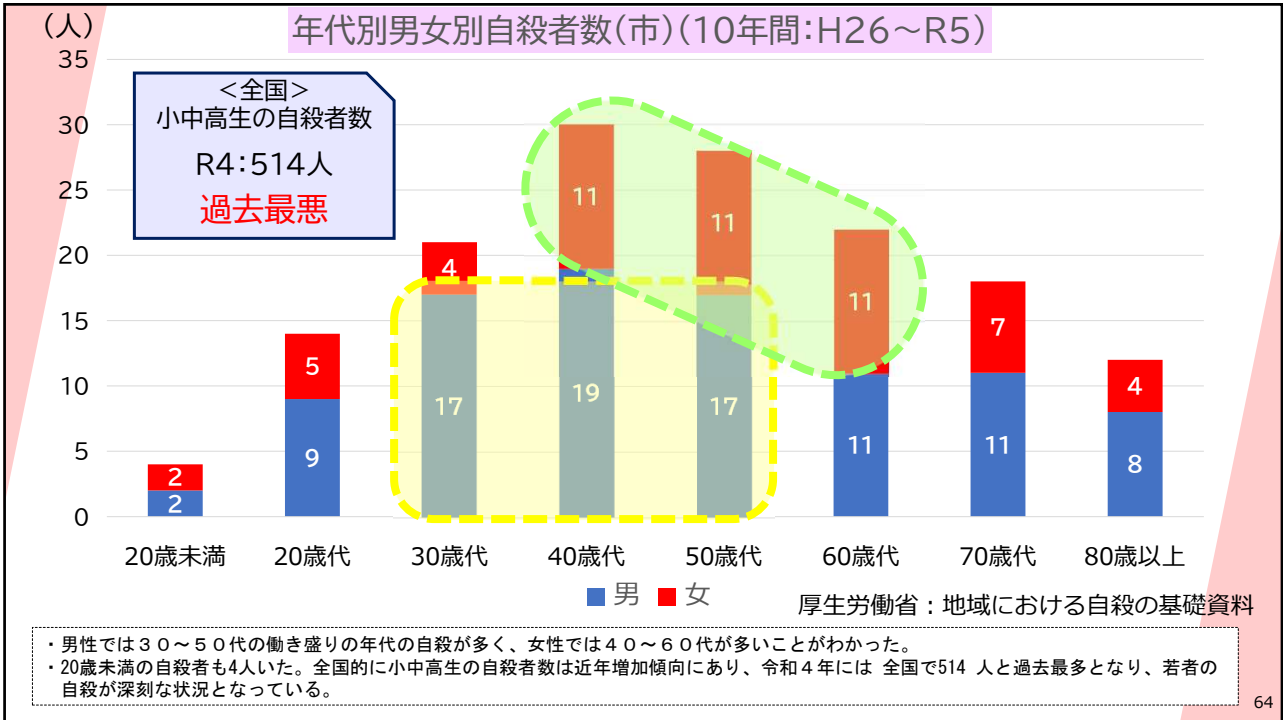
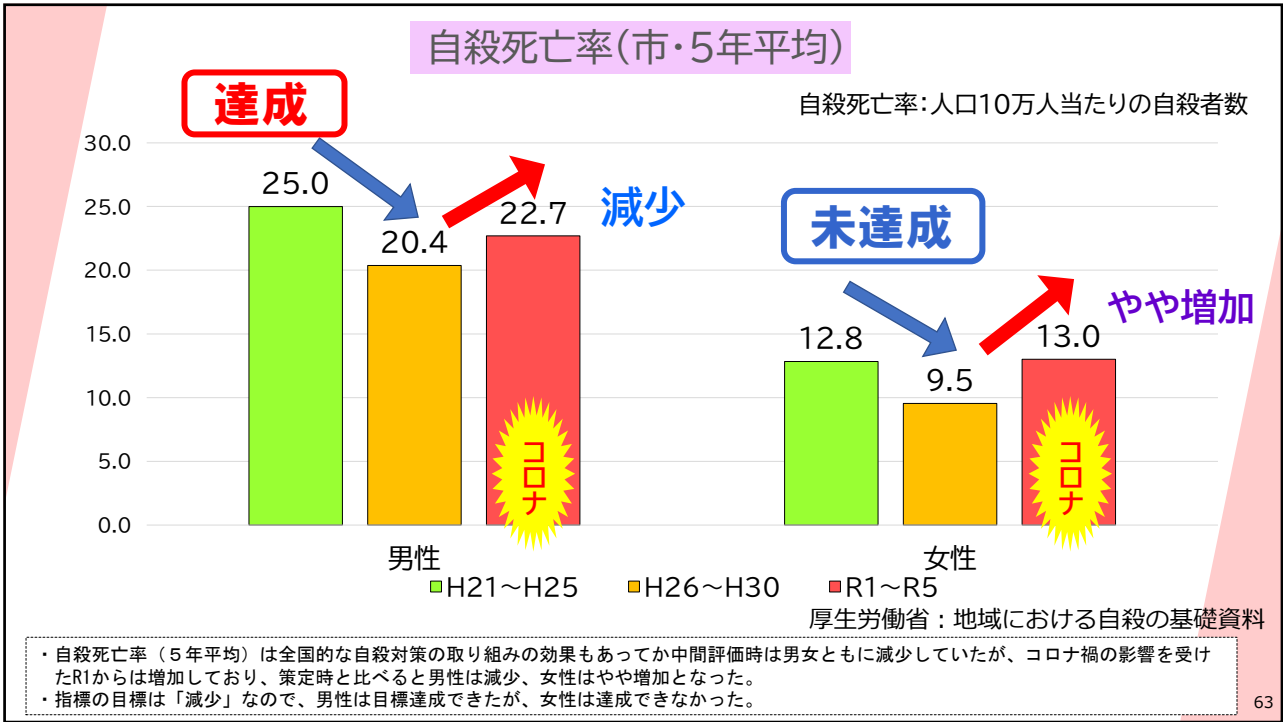


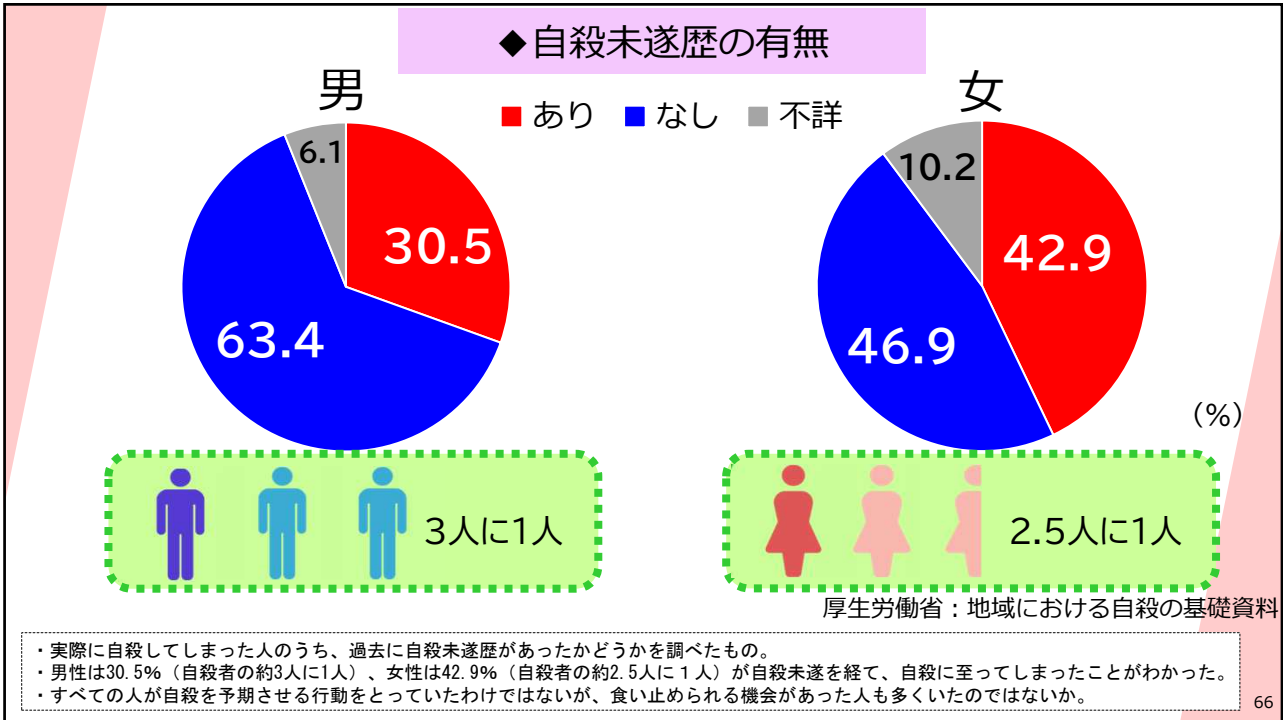
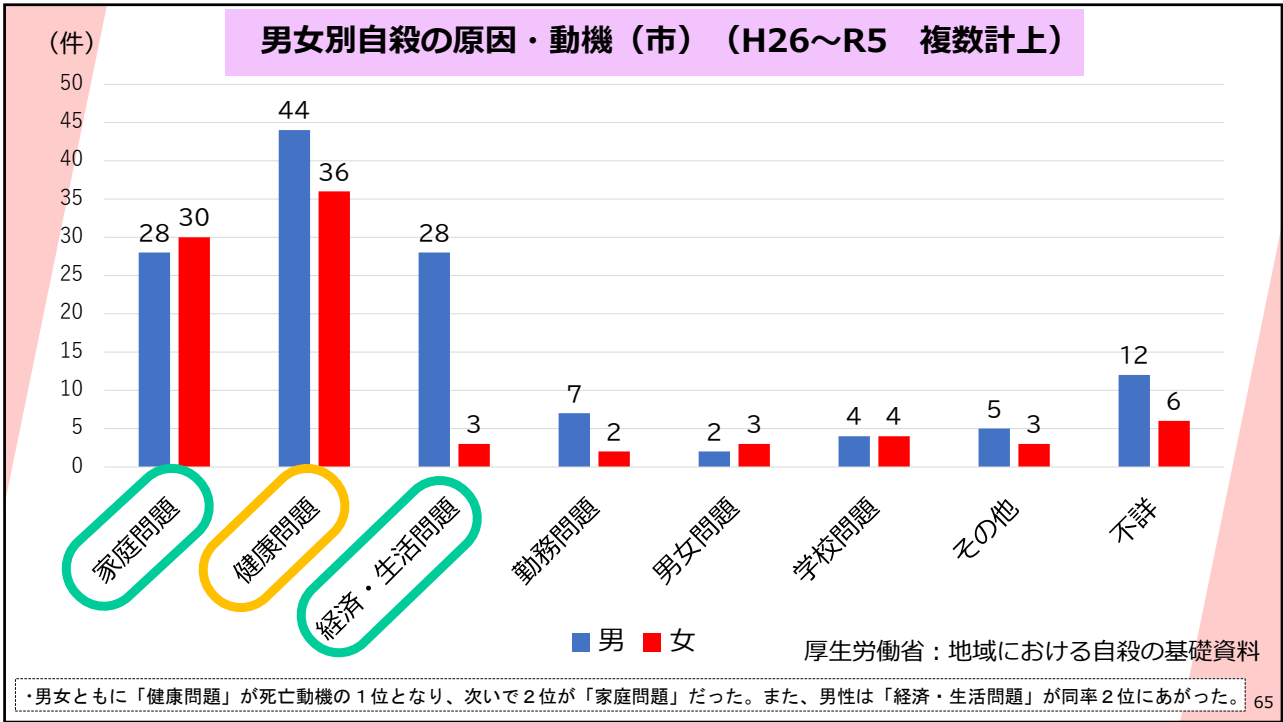
<市内の中学2年生への「自分にはよいところがあるか」という質問の回答結果>
 ・男女ともに「当てはまる」と答えた割合が増加。さらに「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と答えた生徒の割合は減少した。
 ・「自分を大切に思う者」の割合は男子が約82.3%・女子が75.7%で、目標値の男子65%・女子60%を大きく上回り目標を達成した。

◆自殺死亡率の年次推移（市・県・国）



・市の自殺死亡率は年度によりばらつきがあるものの県・国と同様に近年減少傾向だった。しかし令和1年からのコロナ禍の影響のためか、令和2年からは増加に転じ、市の死亡率は大幅に増加してしまっている。

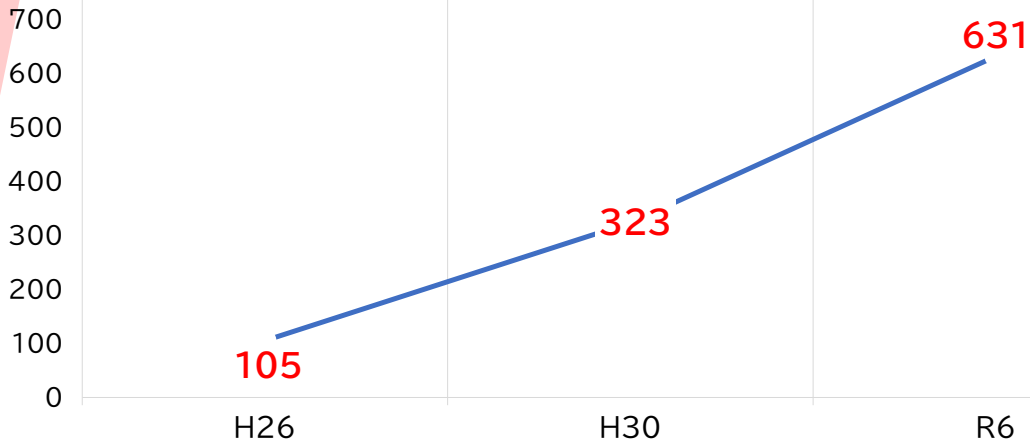




ゲートキーパー養成講座受講者数（市・累計）

(人)

800人



・R6までに631人のゲートキーパーを養成することができた。しかし、目標は800人であったため、目標は達成できなかった。今後もより一層の取り組みが必要と思われる。

67

指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
睡眠時間が5時間未満の者の割合の減少 (40代～50代女性)	6.0%	15.0%	5%	悪化
睡眠で休養が取れている者の割合の増加	男性:86.0%	79.1%	90%	悪化
	女性:80.6%	75.6%	85%	悪化
睡眠時間が6時間未満の者の割合の減少 (中学生)	男子:16.7%	7.5%	15%	目標達成
	女子:18.3%	15.1%	16%	目標達成
最近1か月以内にストレスを感じた者の割合の減少	男性:20.2%	28.1%	18%	悪化
	女性:31.7%	37.6%	29%	悪化

68

指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
自分なりのストレス解消法 のある者の割合の増加	男性:57.0%	71.4%	70%	目標達成
	女性:69.7%	81.6%	80%	目標達成
自分を大切に思う者の割合の増加(小学生高学年)	男子:78.6%	78.5%	80%	変化なし
	女子:76.3%	76.4%	80%	変化なし
自分を大切に思う者の割合の増加(中学生)	男子:57.7%	82.3%	65%	目標達成
	女子:50.7%	75.7%	60%	目標達成
自殺死亡率の減少	男性:25.0 (H21~H25平均)	22.7 (R1~R5平均)	減少	目標達成
	女性:12.8 (H21~H25平均)	13.0 (R1~R5平均)	減少	悪化
ゲートキーパー養成講座受講者数の増加	105人	631人	800人	改善したが 目標達成 ならず

69

～喫煙～

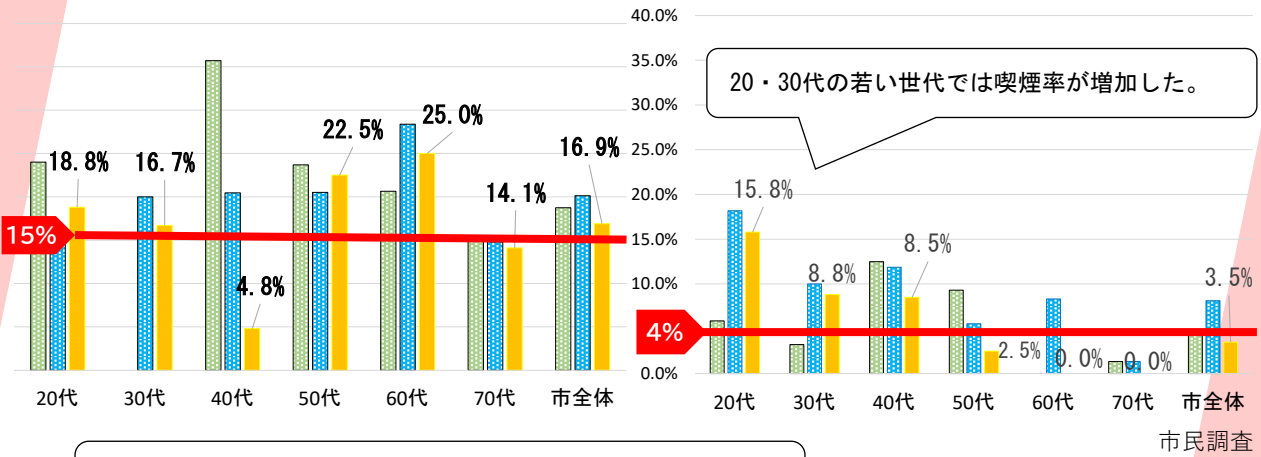
70

◆ 習慣的にたばこを吸っている者の割合の減少

男性

女性

■ H26 ■ H30 ■ R6



20・30代の若い世代では喫煙率が増加した。

策定時よりも男性は減少しているが、目標15%には届いていない。女性も減少し、目標4%を達成。

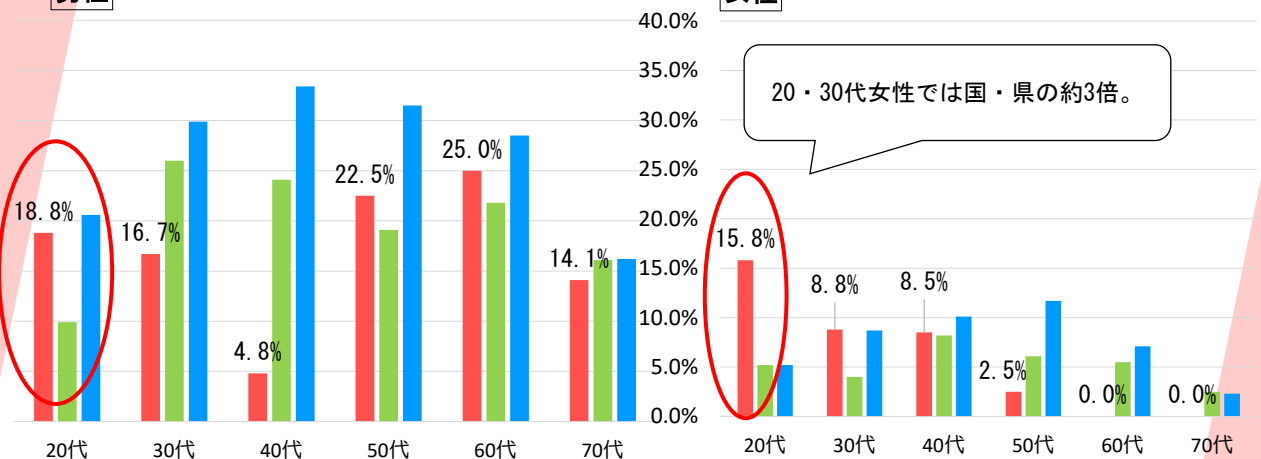
市民調査

習慣的にたばこを吸っている者の国・県比較

男性

■ 市 ■ 県 ■ 国

女性

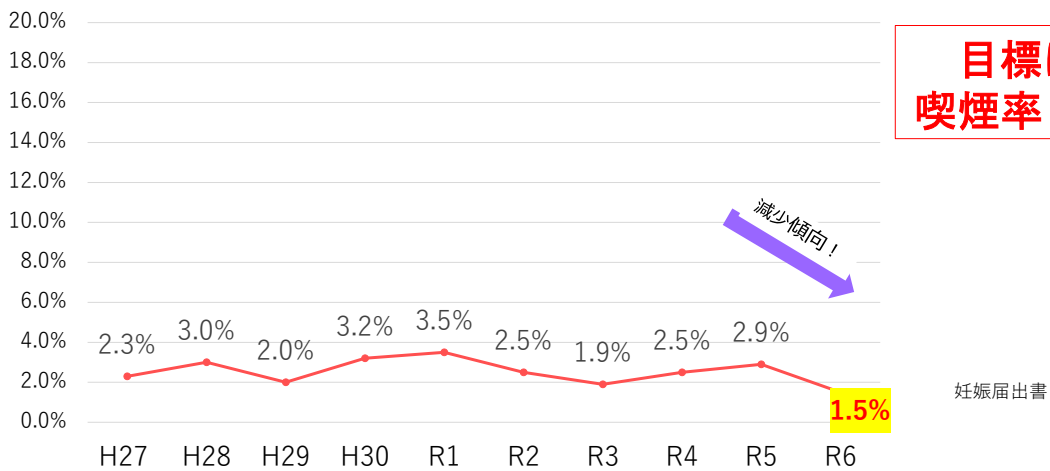


20・30代女性では国・県の約3倍。

男女ともに20代で県より高い。全体的に喫煙率は男性のほうが高いが、県・国と比較しても若年女性の喫煙率が市では高いことがうかがえる。

市R6市民調査・県R5なら健康長寿基礎調査・国R5国民健康栄養調査

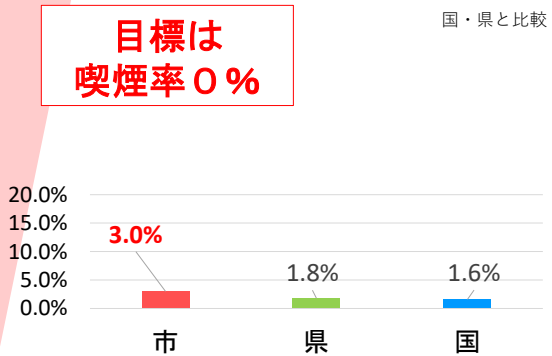
妊娠届出からみる妊婦の喫煙率



H27から経年的に妊娠届出からの喫煙の有無を調査した結果、妊婦の喫煙率は、毎年2~3%台を推移していたが、R6は減少した。目標は0%のため達成せず。

◆妊娠中の喫煙率（左表）

目標は
喫煙率0%

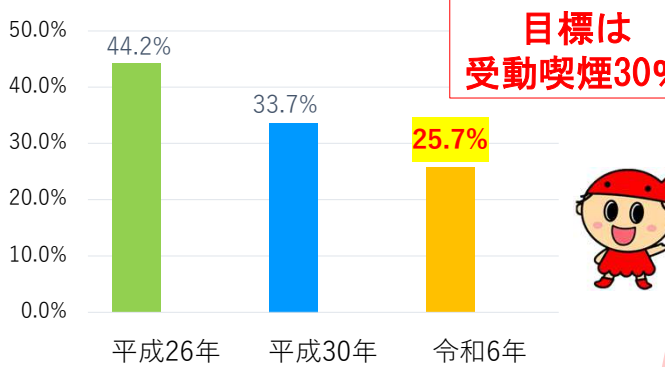


R5成育医療等基本方針に基づく評価指標（4か月児健診問診票）

指標「妊婦の喫煙」では4か月健診の問診票の妊娠中の喫煙について調査し、国県と比較しても高く、目標達成せず。

◆妊婦の受動喫煙（右表）

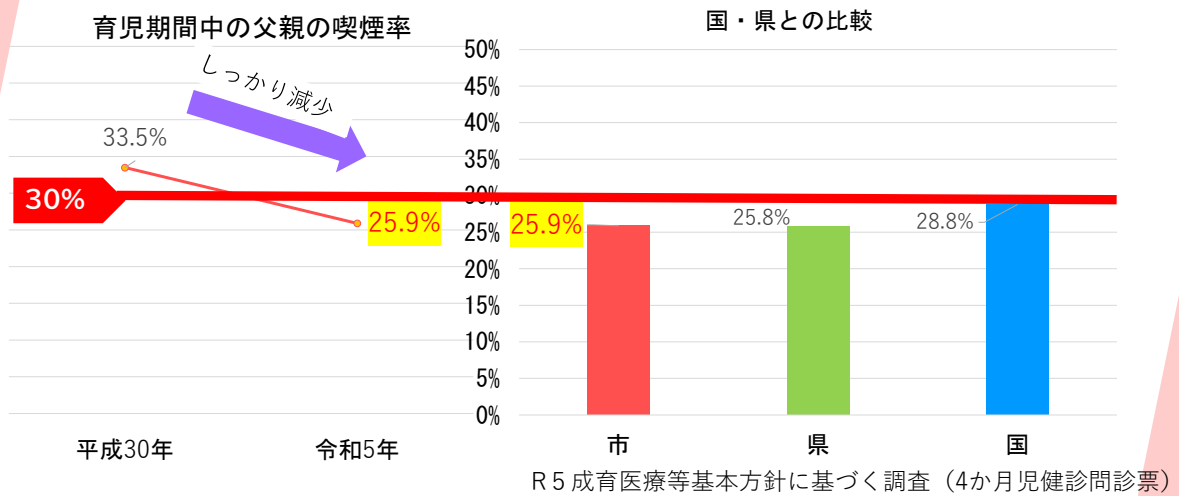
目標は
受動喫煙30%



妊娠届出書

指標「妊婦の受動喫煙」については、策定時よりも減少し目標達成。ただし市の妊娠届出からの調査のため国県とは比較できず。

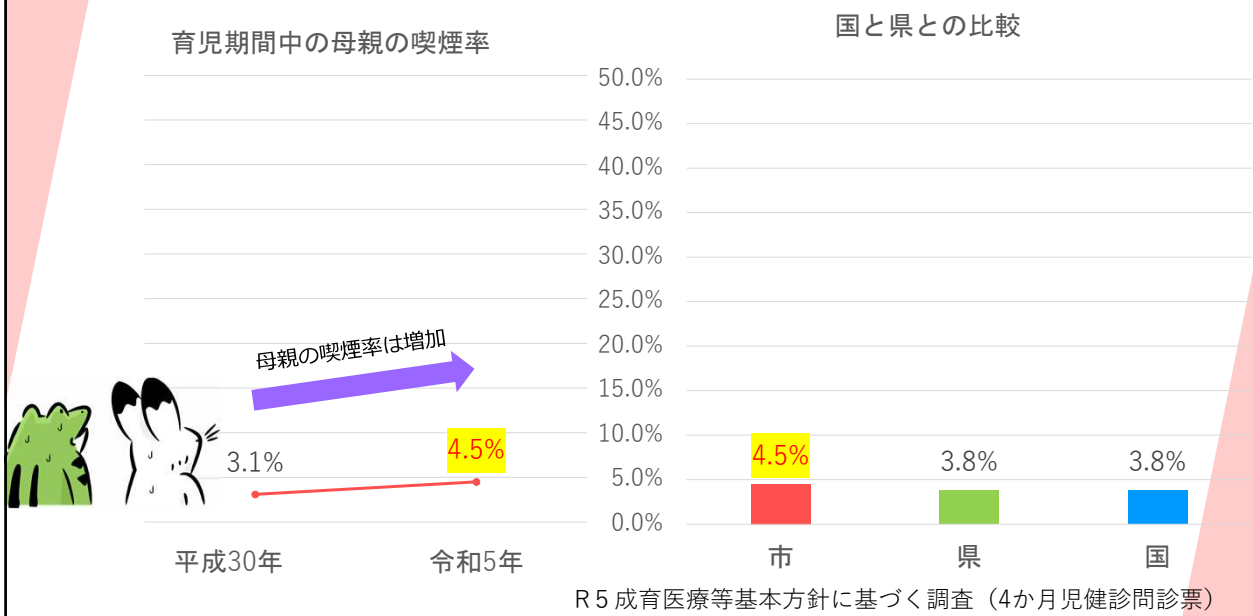
◆育児期間中の父親の喫煙率



指標「育児期間中の父親の喫煙率」については経年的にも減少し、目標である喫煙率30%を下回り目標達成。国・県と比較しても低く、良い結果であった。

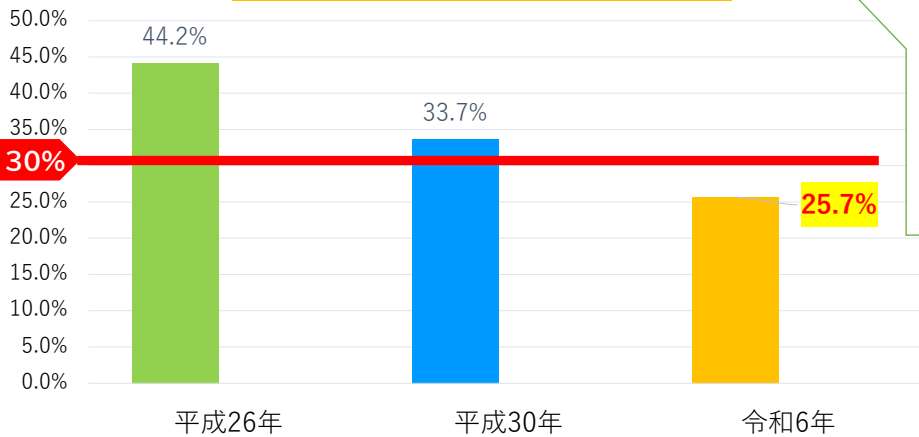
75

では父親だけでなく、母親は？



76

◆妊婦の受動喫煙



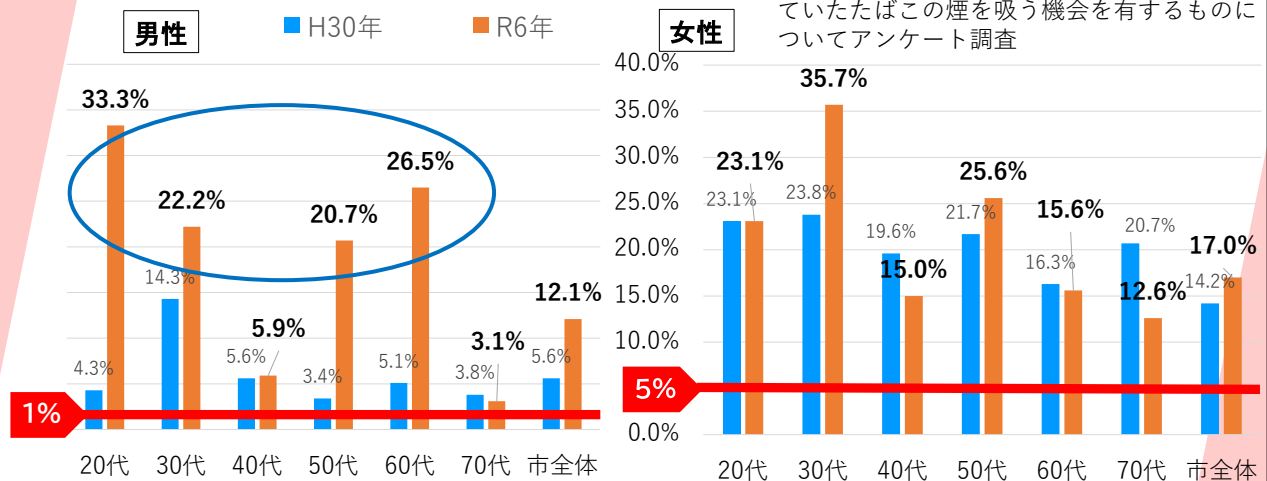
禁煙リーフレットを配布し、禁煙指導を行っています



妊娠届出書

妊娠届出の際に「同居家族でタバコを吸っているひとはいますか？」と聞き取った結果、妊婦の受動喫煙については、H26から経年的に減少。目標30%も下回り目標を達成した。

◆受動喫煙の機会を減らす（家庭）



※受動喫煙の機会とは現在喫煙者をのぞいて、自分以外の人が吸っていたたばこの煙を吸う機会を有するものについてアンケート調査

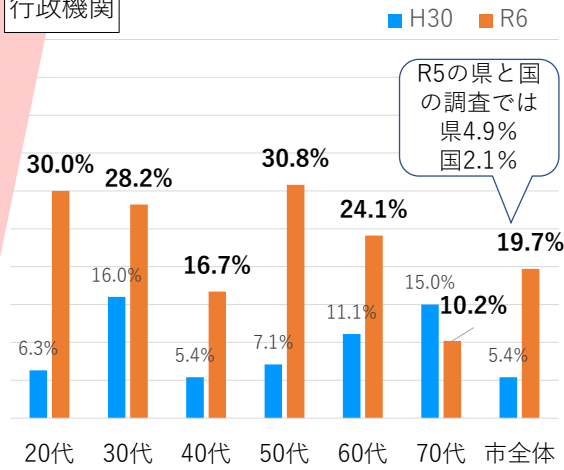
家庭での受動喫煙は男女ともにすべての世代で増加し、目標達成せず。男性の20代30代、50代60代では大きく増加している。受動喫煙については、R2年の健康増進法の改正にともない、喫煙者の喫煙の機会は少なくなり、家庭での喫煙が高まっている可能性や、社会での受動喫煙の意識の高まりから「たばこの煙」を感じる人の増加していることが示唆される。

市民調査

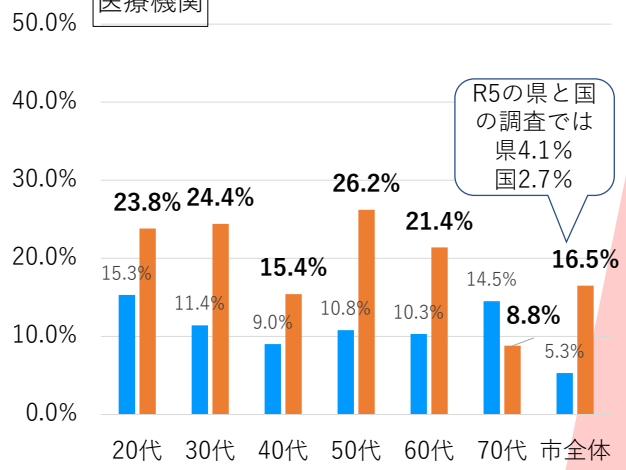
◆受動喫煙の機会を減らす（行政機関＋医療機関）

目標：行政機関＋医療機関で5%

行政機関



医療機関



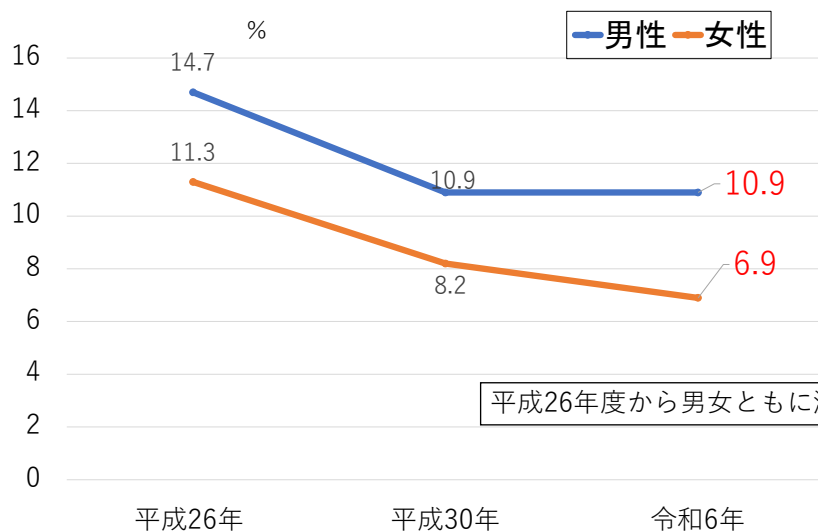
市R6市民調査・県R5なら健康長寿基礎調査・国R5国民健康栄養調査

全世代で公共機関（行政機関・医療機関）において、受動喫煙を感じる人は増加。県国と比較してもR6の大和郡山市の結果は4～5倍近く高く、目標は遠く及ばず。

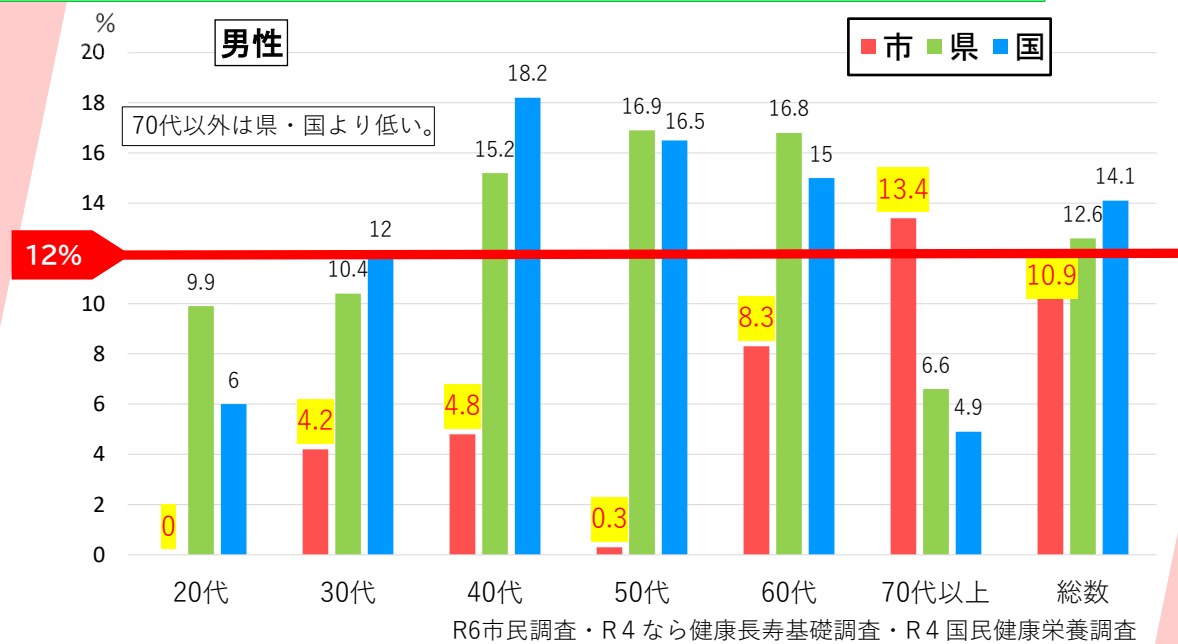
指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
習慣的にたばこを吸っている者の割合の減少 (喫煙率)	男性:18.8%	16.9%	15%	改善したが目標達成ならず
	女性:4.6%	3.5%	4%	目標達成
妊娠中、たばこを吸っている者の割合を0に近づける (喫煙率)	2.8% (H28)	3.0%	0%	変化なし
妊婦の受動喫煙の割合の減少(喫煙率)	44.2%	25.7%	30%	目標達成
育児期間中の父親の喫煙率の減少	33.5% (H30)	25.9%	30%	目標達成
受動喫煙の機会を減らす(家庭)	男性:5.6% (H30)	12.1%	1%	悪化
	女性:14.2% (H30)	17%	5%	悪化
受動喫煙の機会を減らす(公共機関)	5.4% (H30)	18.1%	5%	悪化

～飲酒～

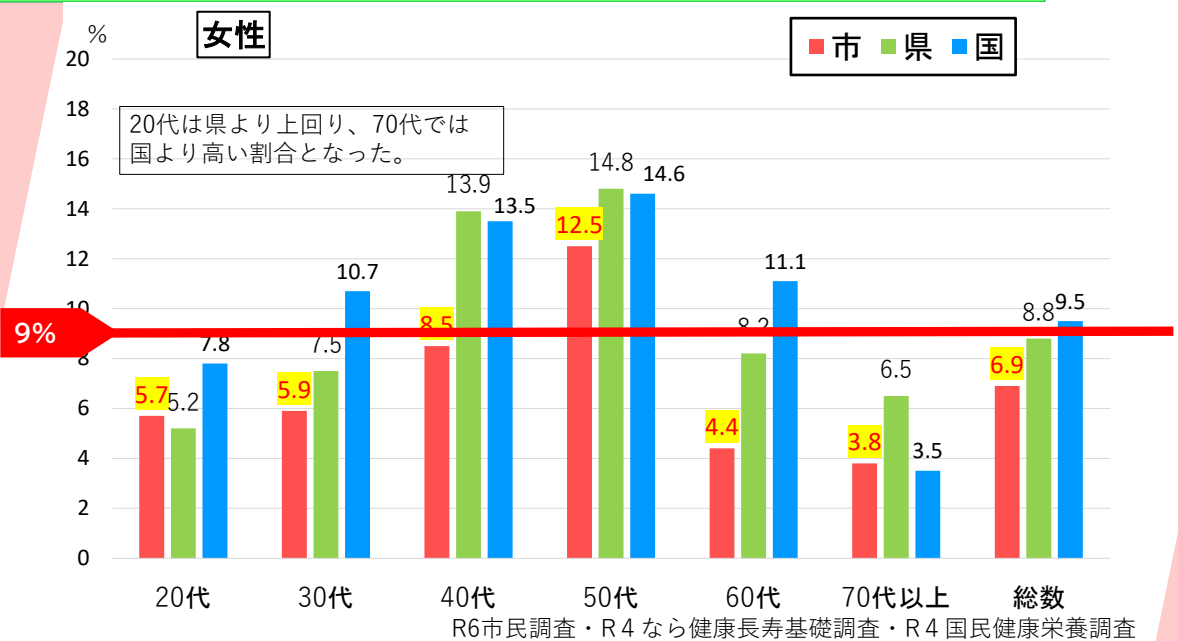
◆生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人(経年比較) (純アルコール摂取量男性40g以上、女性20g以上)



◆生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人

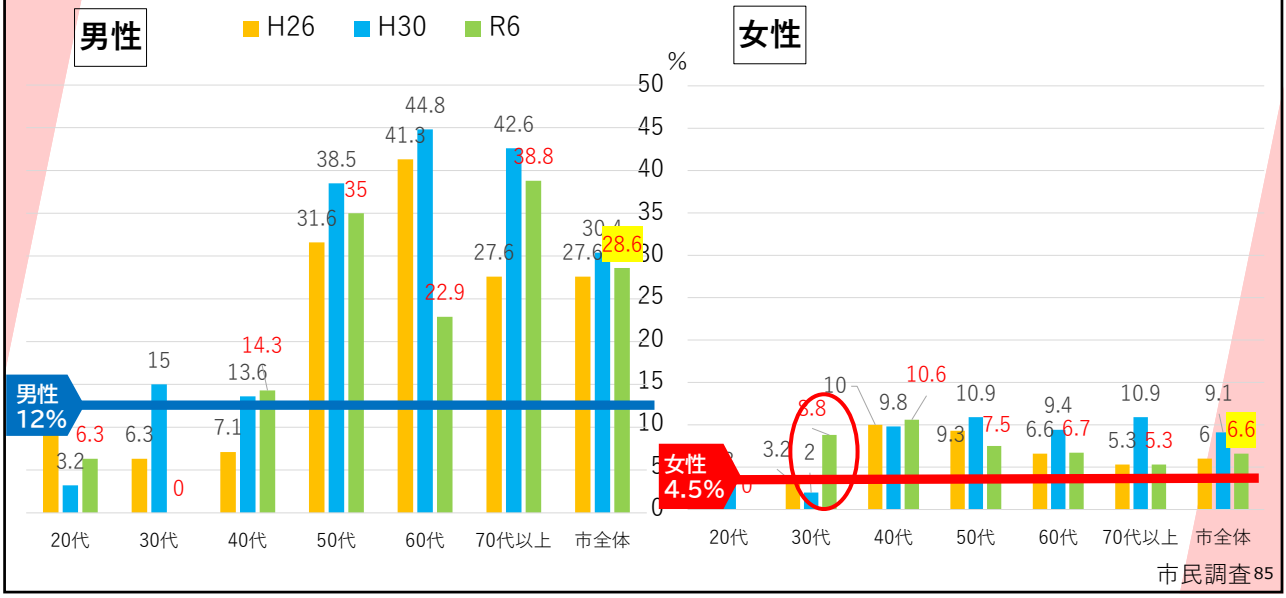


◆生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人



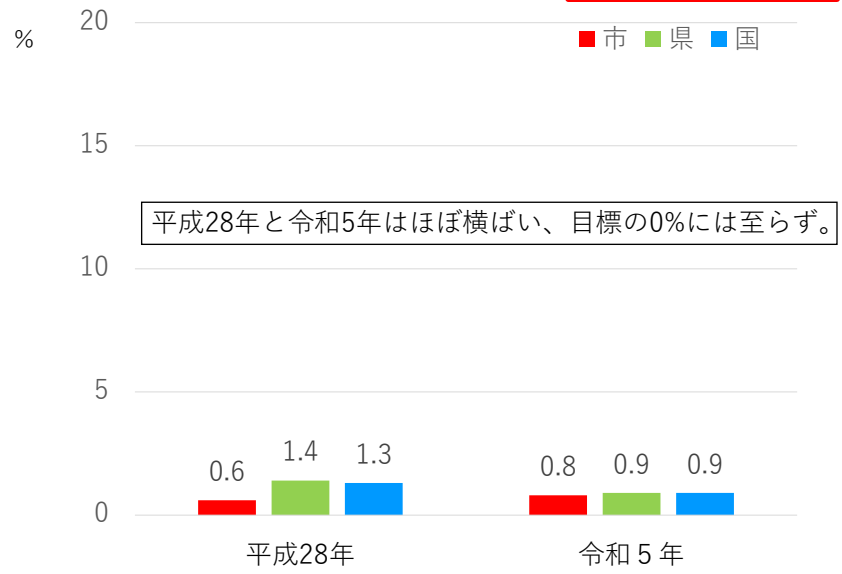
◆休肝日のない人

男性20代40代で平成30年より増加したが、ほかの年代は減少した。女性は男性と比較して毎日飲酒する人は少ないが、女性30代で倍近くに増加している。



◆妊婦で飲酒している人

目標は0%



指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
生活習慣病のリスクを 高める量の飲酒をして いる人の割合の減少	男性:14.7%	10.9%	12%	目標達成
	女性:11.3%	6.9%	9%	目標達成
休肝日のない人の割合 の減少(毎日飲酒)	男性:27.6%	28.6%	12%	悪化
	女性:6%	6.6%	4.5%	悪化
妊婦の飲酒の減少	0.6% (H28)	0.8%	0%	変化なし

87

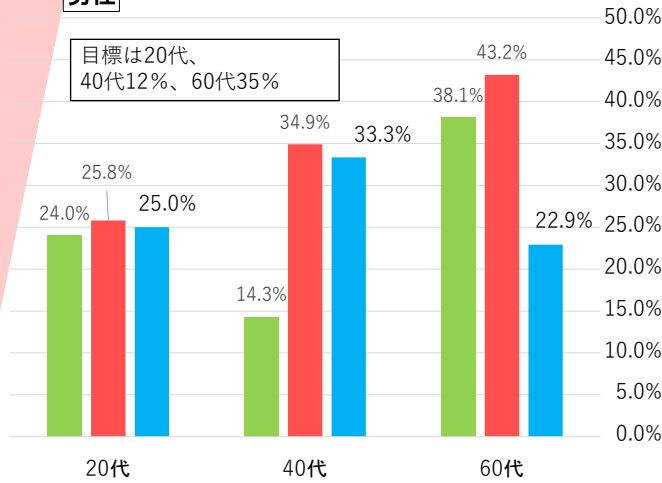
～歯と口腔～

88

◆歯肉に炎症のある者の割合

男性

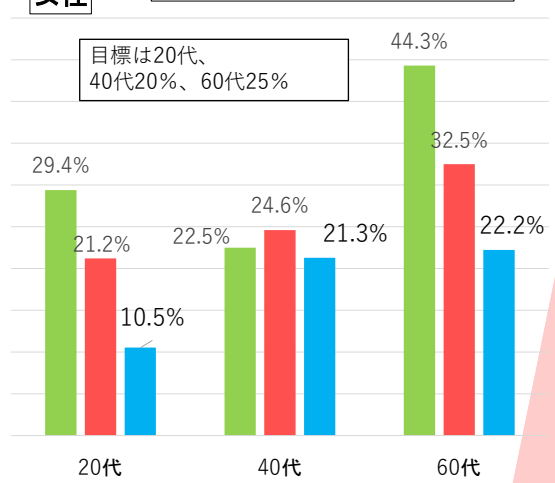
目標は20代、
40代12%、60代35%



女性

■平成26年 ■平成30年 ■令和6年

目標は20代、
40代20%、60代25%



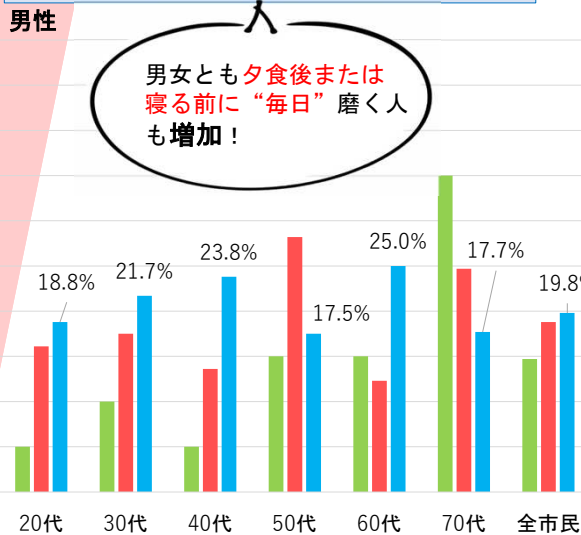
策定時は男性よりも女性のほうがどの年代も歯肉に炎症のあるものは多かった。
しかし最終評価ではどの年代でも、男性と女性が逆転。
男性では20代・40代が策定時より増加しており、目標を達成せず。60代では目標達成した。
女性ではどの年代も策定時より減少しているが、40代では目標達成せず、20代60代のみ目標達成した。

市民調査

◆1日3回歯を磨く者の割合

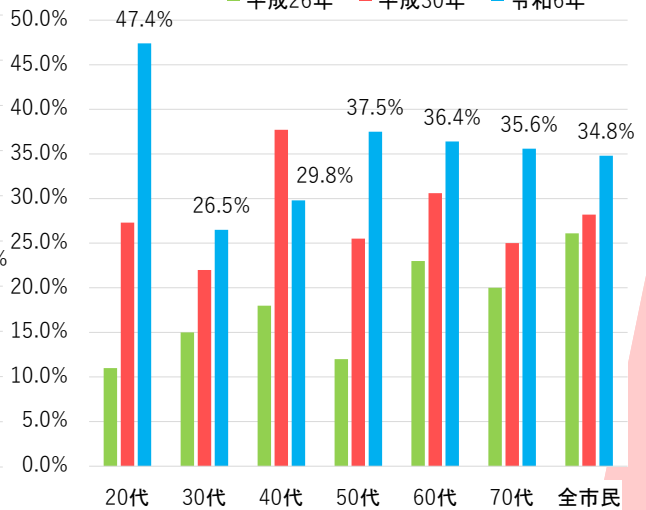
男性

男女とも夕食後または
寝る前に“毎日”磨く人
も増加！



女性

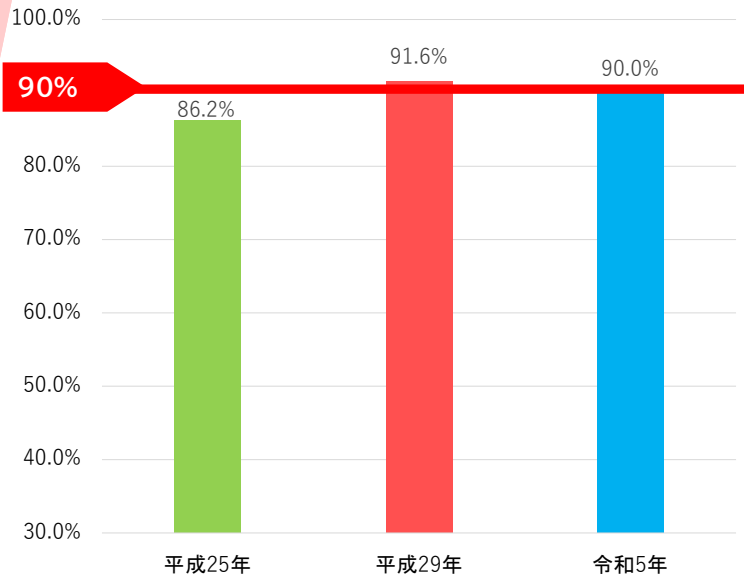
■平成26年 ■平成30年 ■令和6年



男性は増加したが、目標25%は達成せず。女性は4%増加し、目標30%達成。

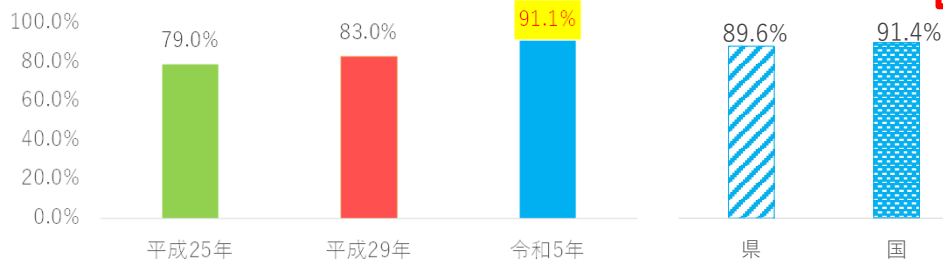
市民調査

◆仕上げ磨きを毎日する3歳児の保護者の割合



年々増加しており、目標達成。

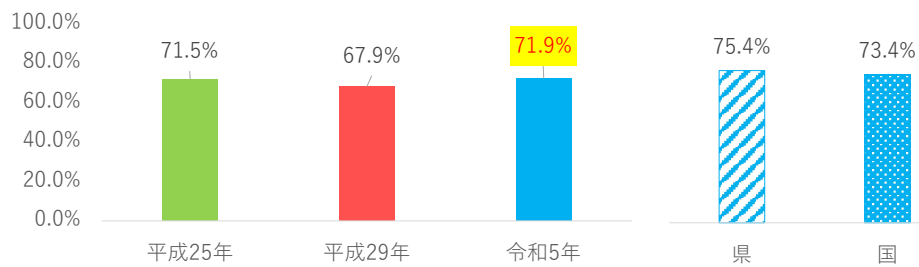
◆むし歯のない3歳児



目標は80%

3歳児では増加し目標達成。

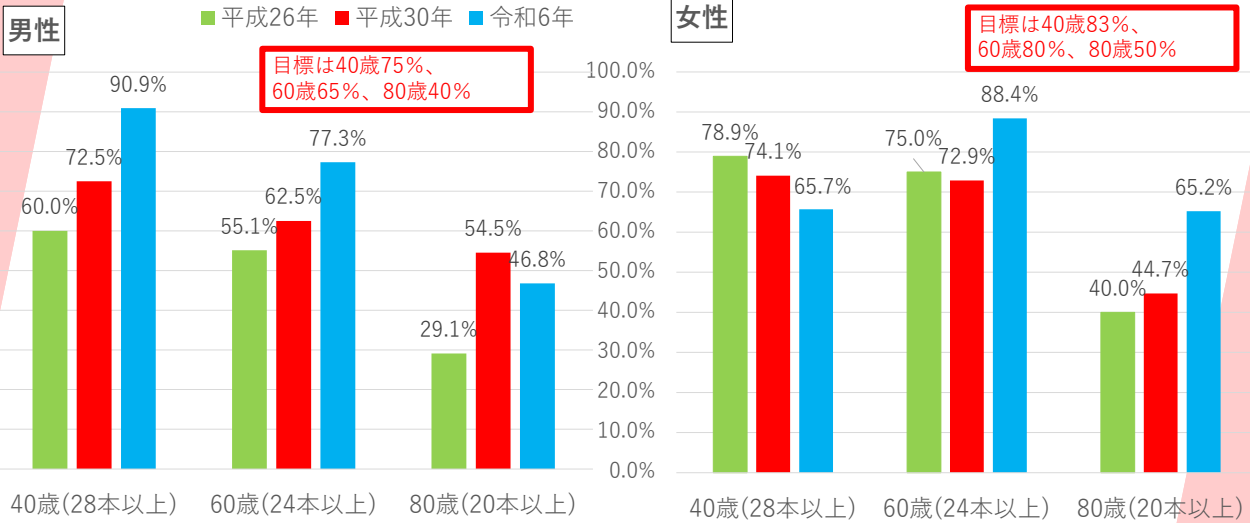
◆むし歯のない12歳児



目標は75%

12歳児では増加したが達成せず。

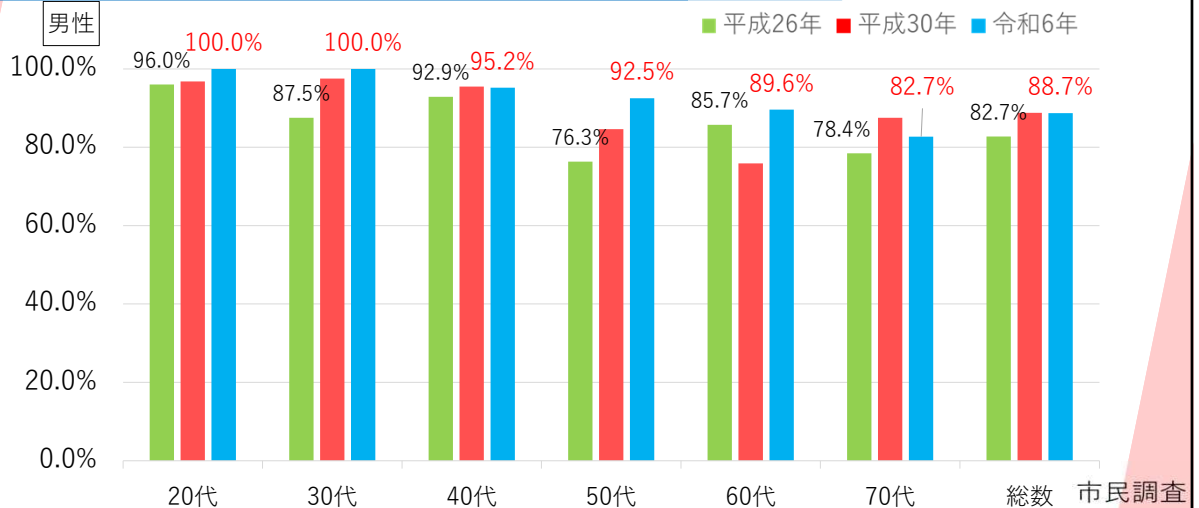
◆目標本数以上の自分の歯を有する者の割合



男性では全年代で策定時より増加し、目標達成。
 女性は40歳で策定時より年々減少しており目標は達成せず。60歳80歳では策定時よりも増加し目標達成。

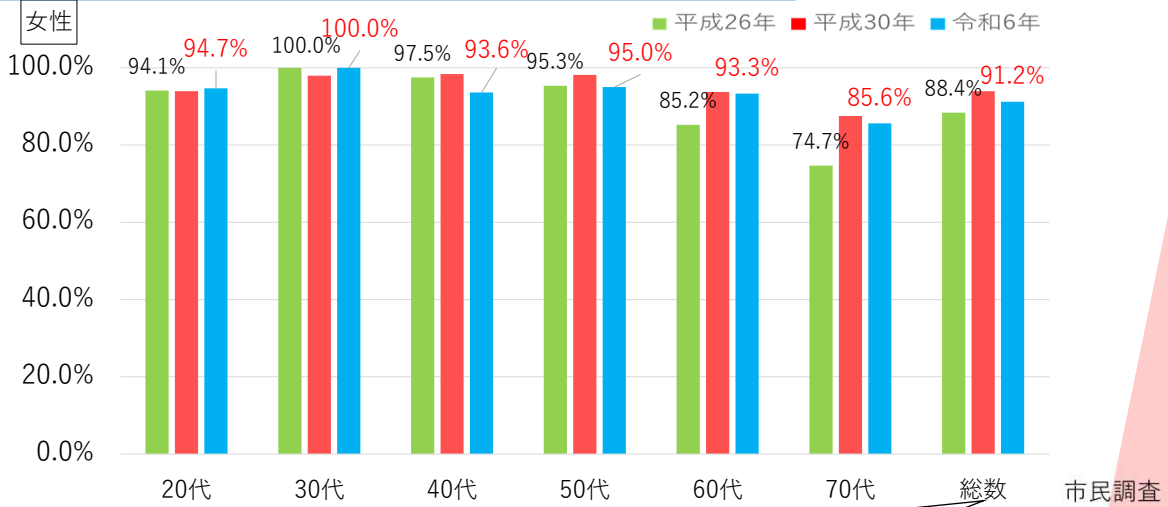
市民調査

何でも噛んで食べることができる人の割合



男性20・30代では何でも噛んで食べられる人は100%で、40代以降年々割合は低下。全体では増加。

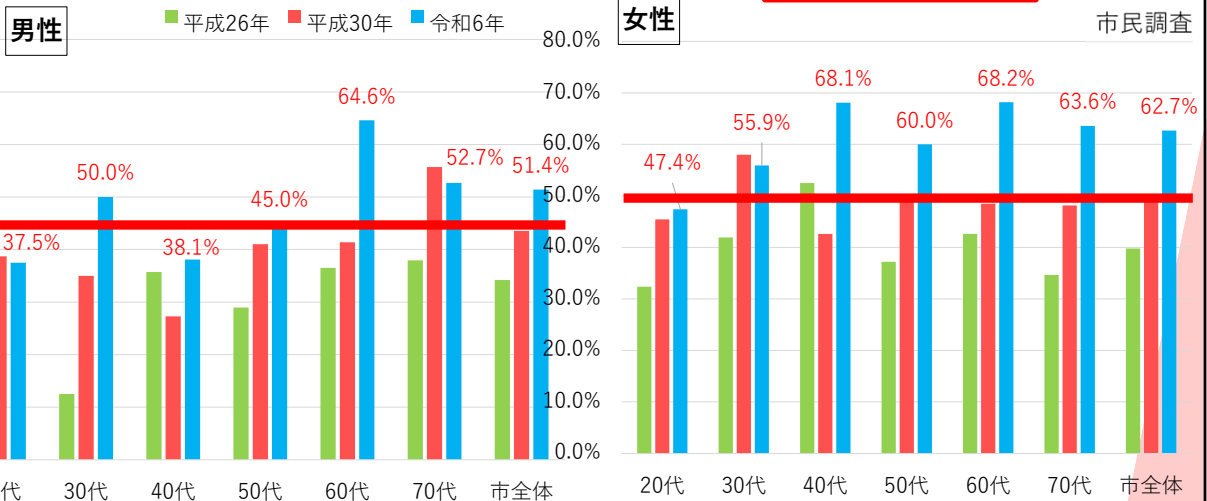
何でも噛んで食べることができる人の割合



女性でも割合は増加。50代から年々低下がみられる。20代で何でも噛める人が100%でなく、50代の95.0%よりも低い。

◆過去一年間に歯科健診を受診した者の割合

目標は
男性45% 女性50%



男性・女性とも全世代で歯科健診の受診率は増加し、目標の男性45%、女性の50%を達成。

指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	男性:24.0%	25.0%	20%	変化なし
	女性:29.4%	10.5%	25%	目標達成
40歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	男性:14.3%	33.3%	12%	悪化
	女性:22.5%	21.3%	20%	変化なし
60歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	男性:38.1%	22.9%	35%	目標達成
	女性:44.3%	22.2%	25%	目標達成

97

指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
1日3回歯を磨く者の割合の増加	男性:14.7%	19.8%	25%	改善したが目標達成ならず
	女性:26.1%	34.8%	30%	目標達成
仕上げ磨きを毎日する習慣のある3歳児の保護者の割合の増加	86.2% (H25)	90.0% (R5)	90%	目標達成
3歳でう蝕がない者の割合の増加	79.0% (H25)	91.1% (R5)	80%	目標達成
12歳(中1)でう蝕がない者の割合の増加	71.5% (H25)	71.9% (R5)	75%	変化なし
40歳で喪失歯のない者の割合の増加	男性:60.0%	90.9%	75%	目標達成
	女性:78.9%	65.7%	83%	悪化

98

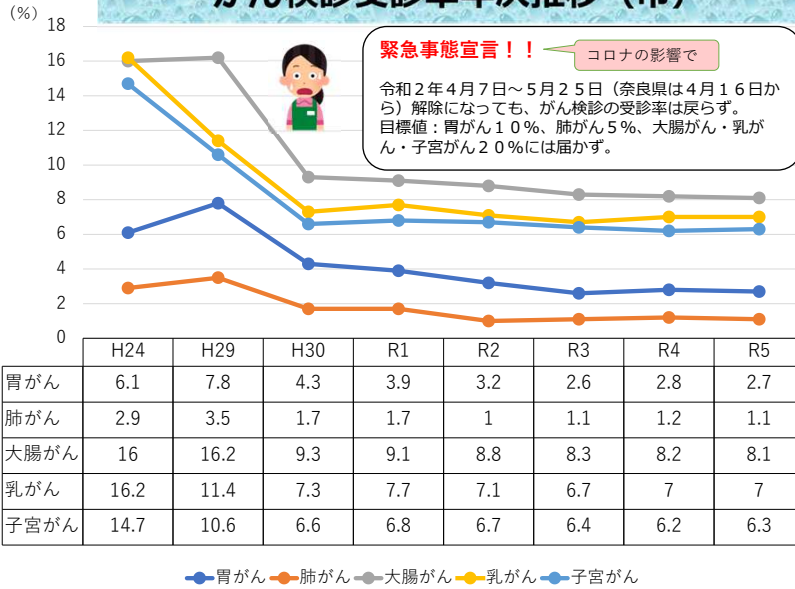
指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	男性:55.1%	77.3%	65%	目標達成
	女性:75.0%	88.4%	80%	目標達成
80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	男性:29.1%	46.8%	40%	目標達成
	女性:40.0%	65.2%	50%	目標達成
過去一年間に歯科健診を受診した者の割合の増加	男性:34.2%	51.4%	45%	目標達成
	女性:39.8%	62.7%	50%	目標達成

99

～がん・生活習慣病予防～

100

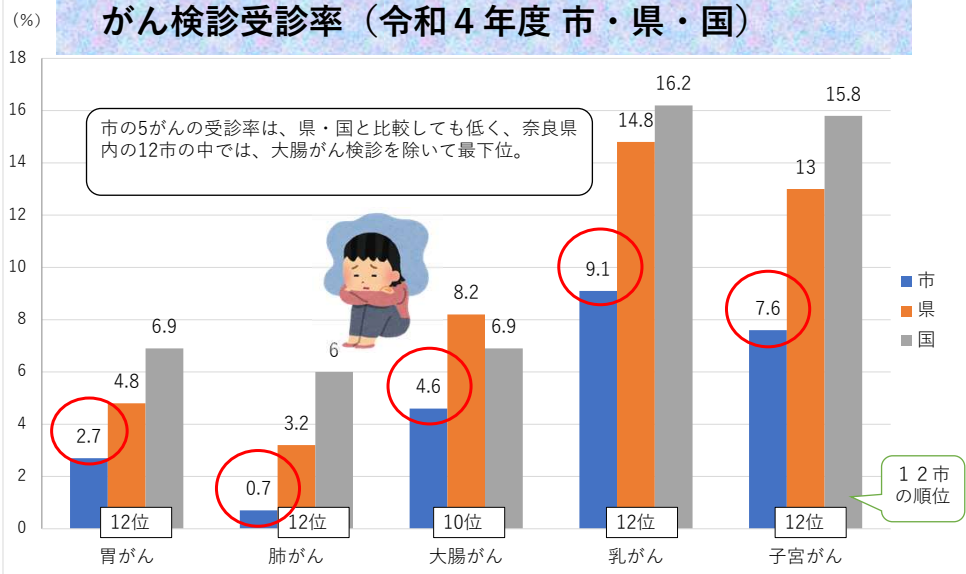
がん検診受診率年次推移（市）



対象者は、子宮がん：20歳以上、胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん：40歳以上

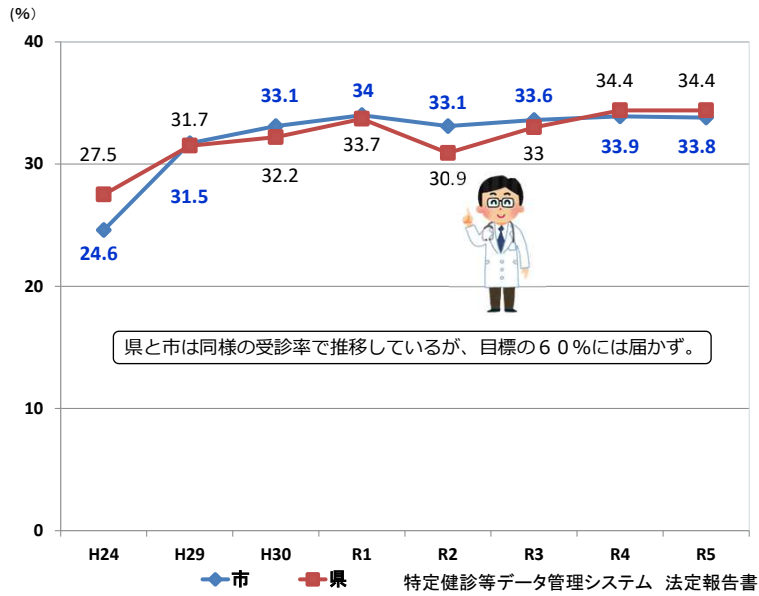
市の実績報告書

がん検診受診率（令和4年度市・県・国）

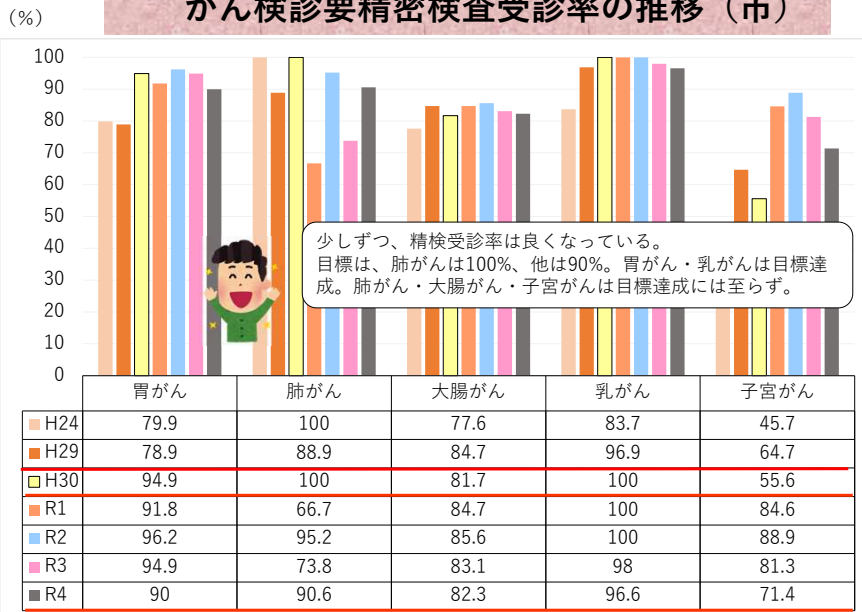


がん対策推進基本計画に基づき、胃がんは、50歳～69歳、大腸・乳がんは、40歳～69歳、子宮がんは、20歳～69歳を対象に算出。

国民健康保険の特定健診受診率（市・県）

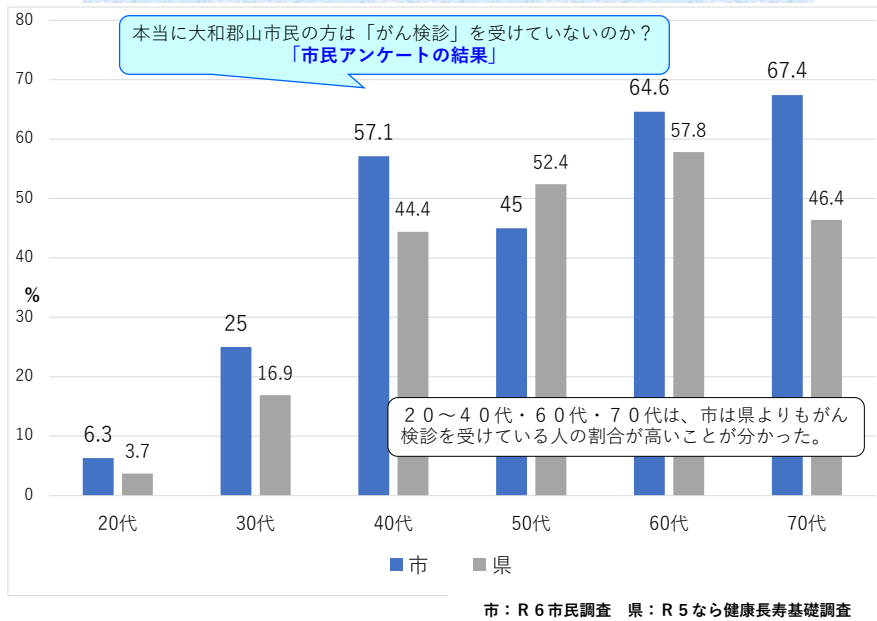


がん検診要精密検査受診率の推移（市）

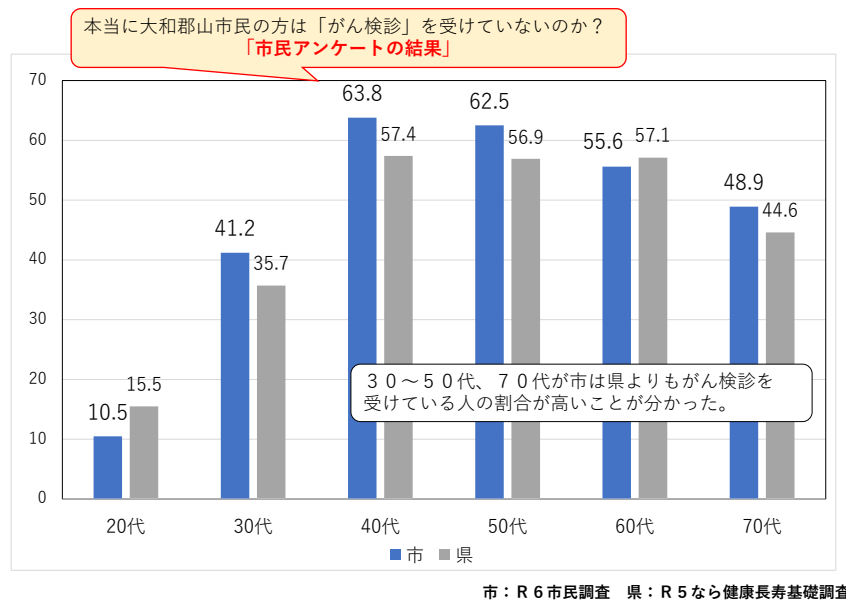


対象者は、子宮がん：20歳以上、胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん：40歳以上
市保健事業実績報告

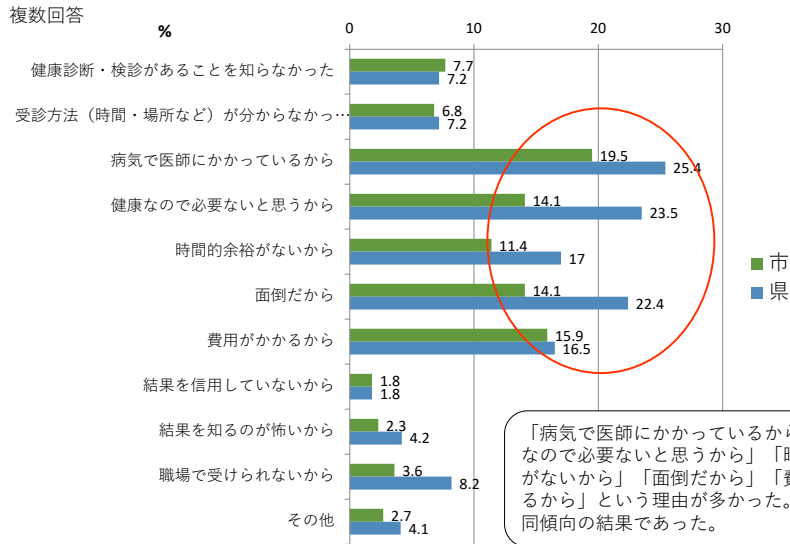
がん検診を受けましたか（男性）



がん検診を受けましたか（女性）

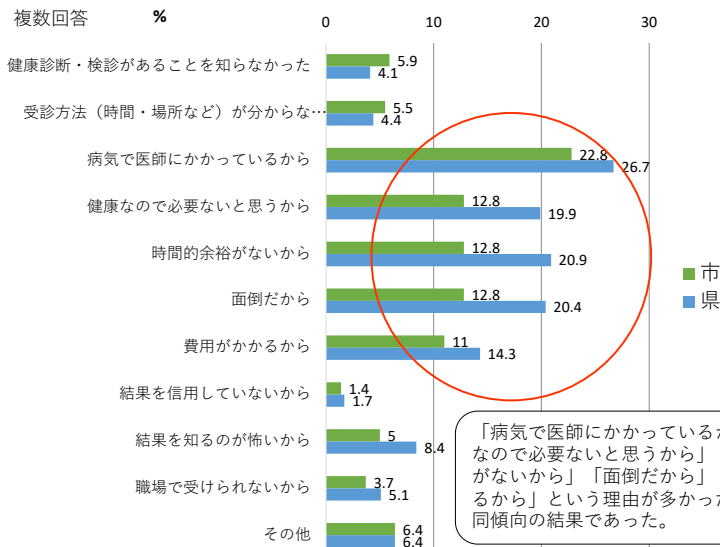


がん検診を受けない理由（男性）



市：R6市民調査 県：R5なら健康長寿基礎調査

がん検診を受けない理由（女性）





市：R6市民調査 県：R5なら健康長寿基礎調査

指標		策定 (H24)	最終値 (R5)	目標	達成度
市のがん検診 受診率の向上	胃がん検診	6.1%	2.7%	10%	悪化
	肺がん検診	2.9%	1.1%	5%	悪化
	大腸がん検診	16%	8.1%	20%	悪化
	乳がん検診	16.2%	7.0%	20%	悪化
	子宮がん検診	14.7%	6.3%	20%	悪化

109

指標		策定 (H24)	最終値 (R5)	目標	達成度
特定健診 受診率向上 ※国民健康 保健加入者	特定健診	24.6%	33.8%	60%	改善したが 目標達成 ならず

110

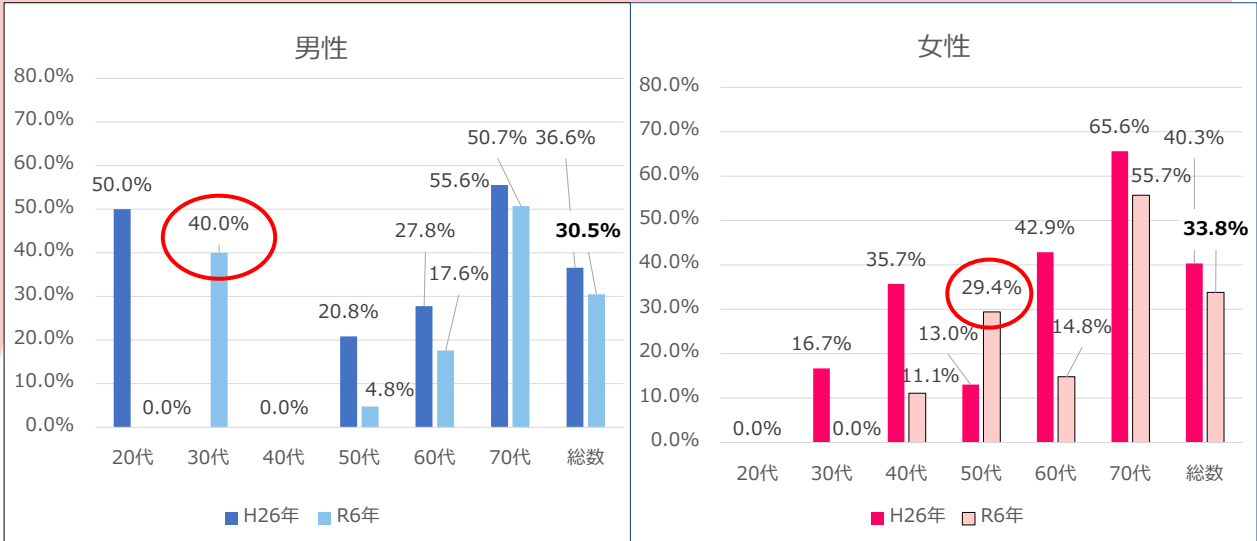
指標	策定 (H24)	最終値 (R5)	目標	達成度	
がん検診精密 検査受診率の 向上	 胃がん検診	79.9%	90%	90%	目標達成
	肺がん検診	100%	90.6%	100%	悪化
	大腸がん検診	77.6%	82.3%	90%	悪化
	 乳がん検診	83.7%	96.6%	90%	目標達成
	子宮がん検診	45.7%	71.4%	90%	悪化

111

健康づくりに取り組む
まちづくり

112

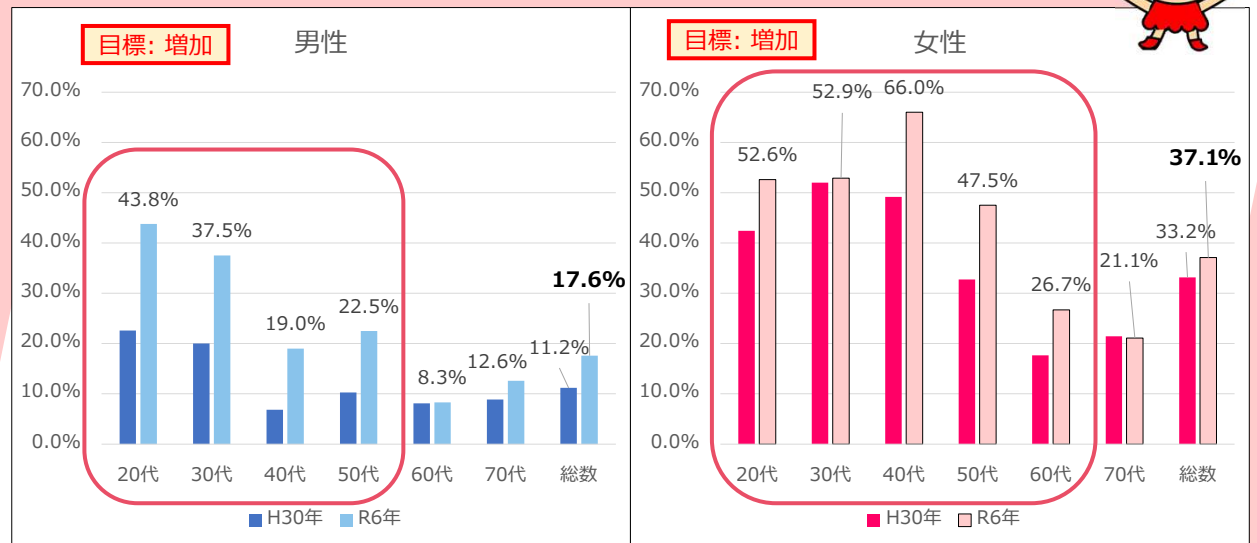
地域で健康づくりで取り組んでいることがある者の割合



策定時の平成26年に比べ、男性は30代、女性では50代で大きく増加。それ以外の年代では平成26年の数値を下回り、総数でも減少。目標である男性45%、女性50%には届かず。

市民調査
113

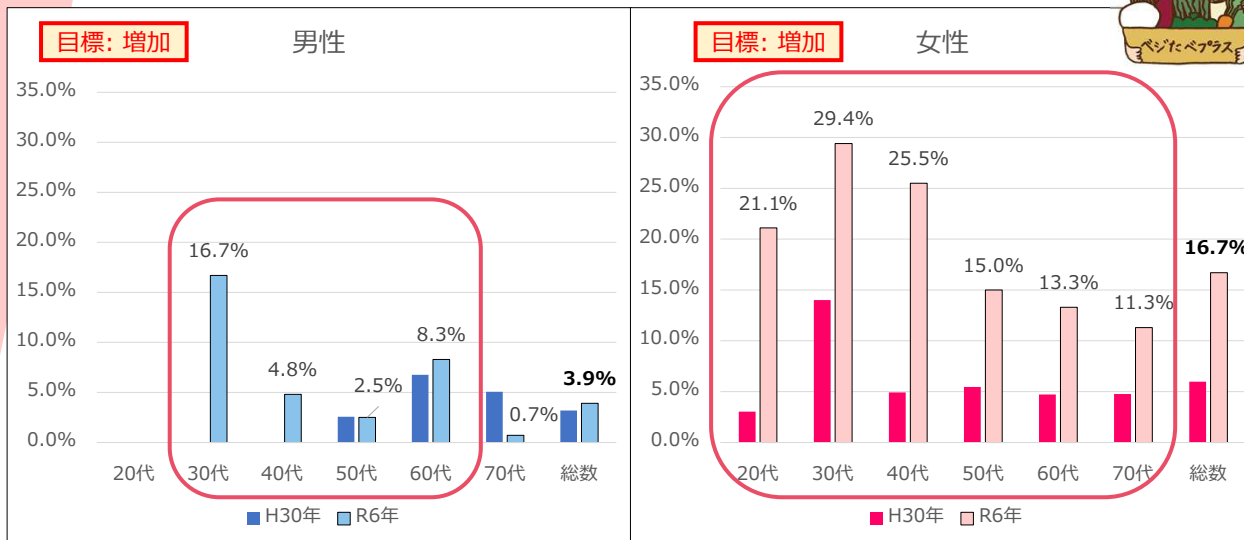
すこやかちゃんを知っている者の割合の増加



男性・女性ともに20～50代では大きく増加し、総数でも男性17.6%、女性37.1%と目標を達成。

市民調査

ベジタベちゃんを知っている者の割合

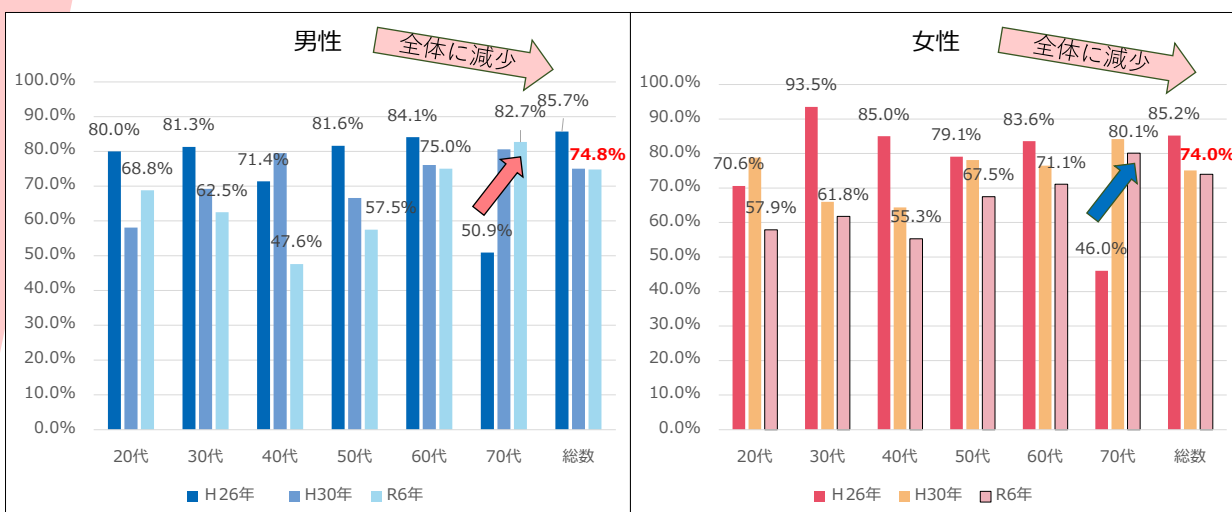


男性30～60歳代、女性では全世代で知っている人が増加し、総数でも目標を達成。

市民調査

115

近所の人とのつながりが大切だと思う者の割合

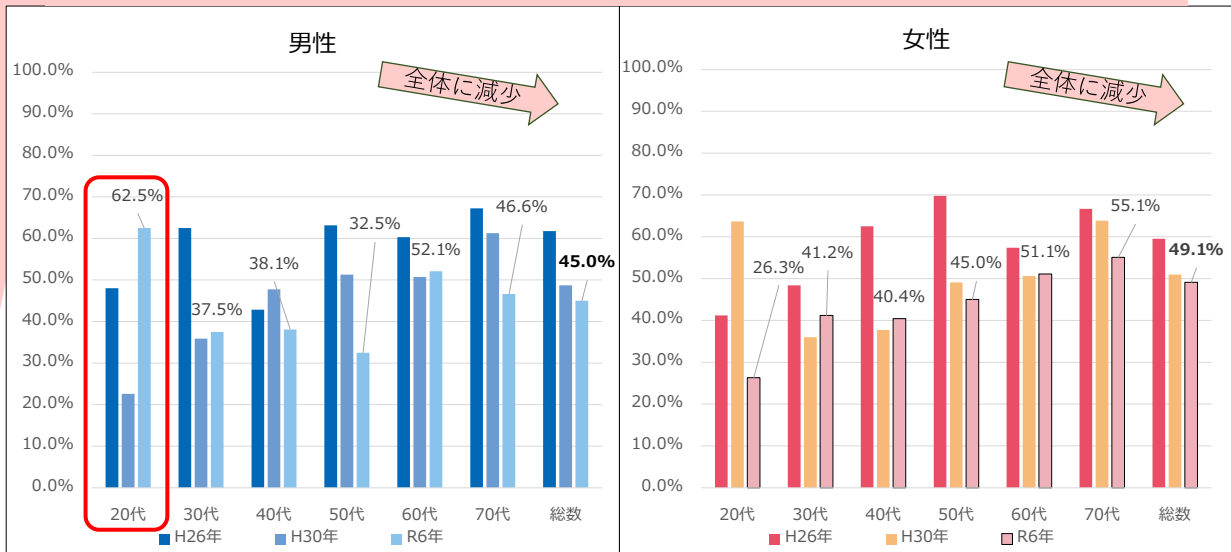


70代では男女ともに大切だと思う人の割合は増加。全体で見ると減少傾向にあり、男性では74.8%、女性で74.0%。

市民調査

116

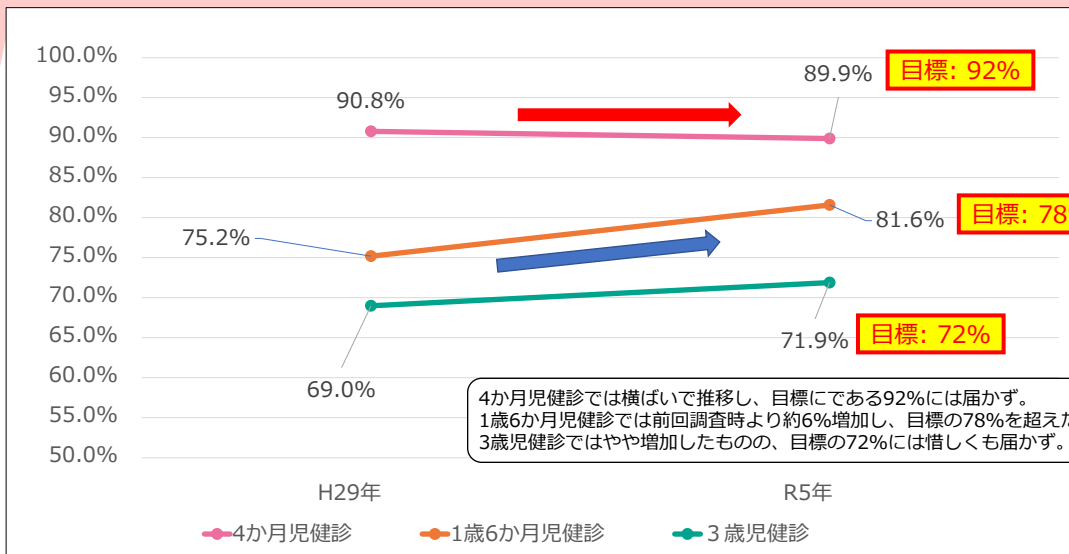
居住地でお互いに助け合っていると思う者の割合



男性の20代では増加。それ以外の年代ではほぼすべてで減少傾向にあり、目標である65%には届かず。

市民調査
117

ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある者の割合

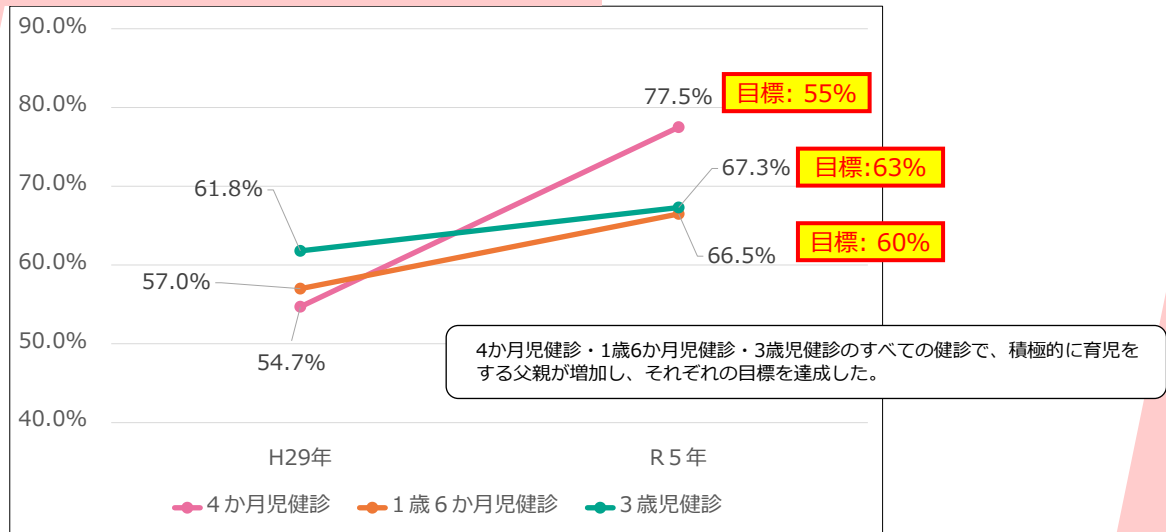


4か月児健診では横ばいで推移し、目標にである92%には届かず。
1歳6か月児健診では前回調査時より約6%増加し、目標の78%を超えた。
3歳児健診ではやや増加したものの、目標の72%には惜しくも届かず。

成育医療等基本方針(健やか親子21)に基づく調査

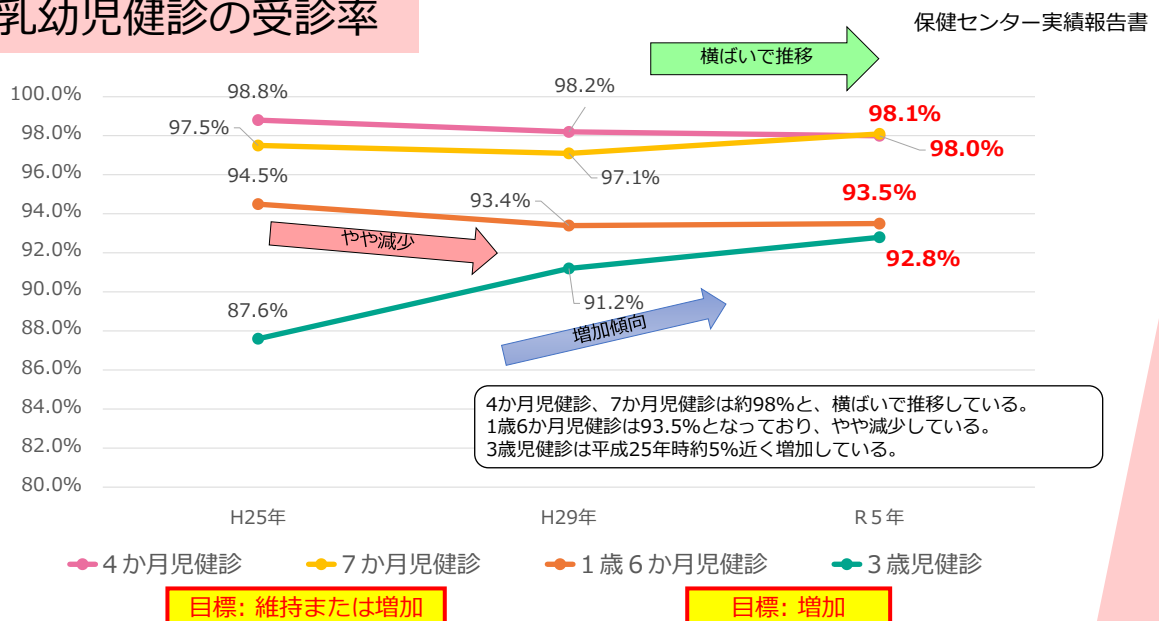
118

積極的な父親の育児参加率

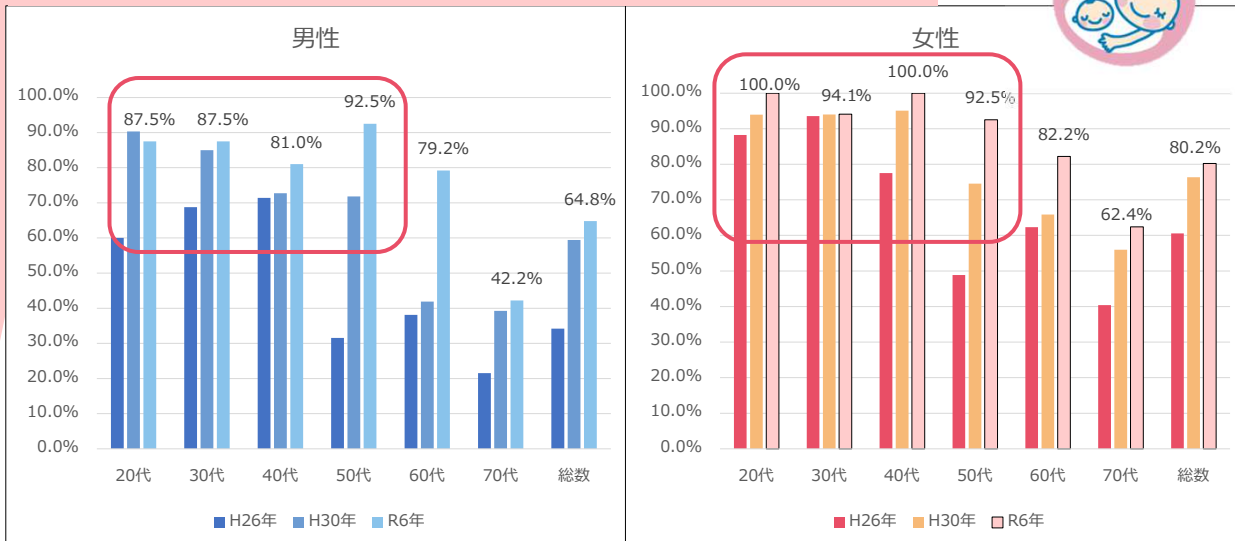


成育医療等基本方針(健やか親子21)に基づく調査

乳幼児健診の受診率



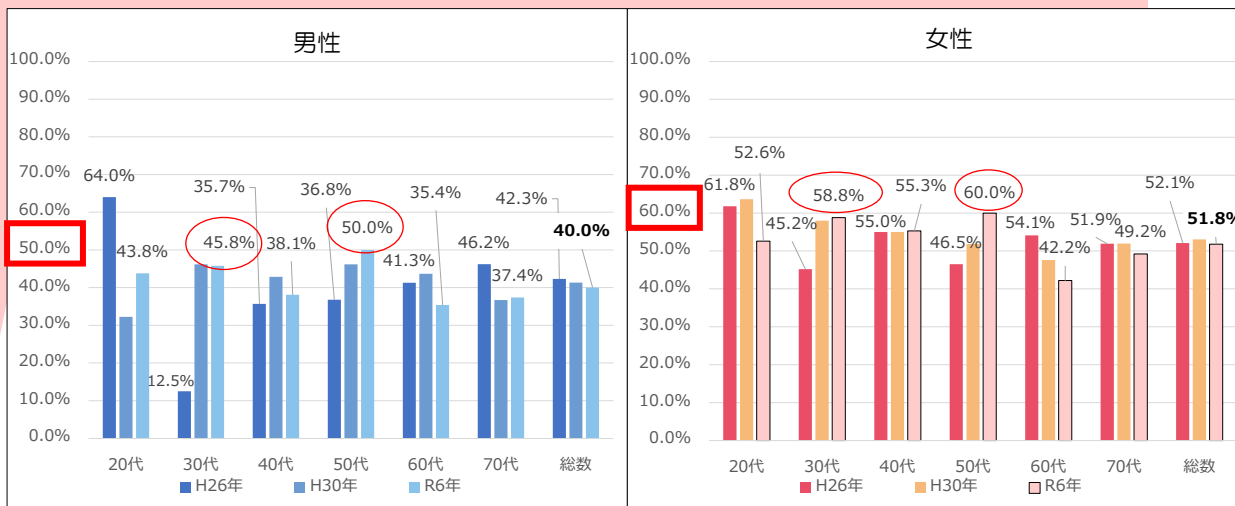
マタニティマークについて知っている人



子育て世代に近い20~50代の人では80~90%に近い人が知っている状況。他の世代でも知っている人が増え、男性は改善しましたが目標に届かず。女性は目標を達成。

市民調査

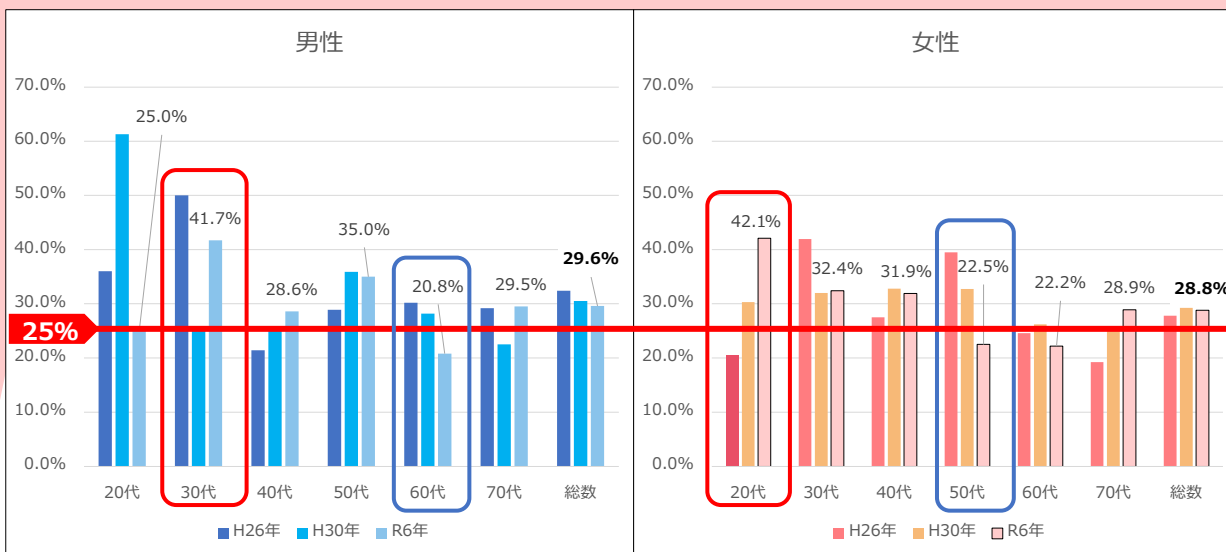
虐待について相談できる場を知っている者の割合



30代・50代の男女では、策定時と比較して大きく増加しているが、それ以外の年代では横ばい、もしくは減少傾向。総数で見ると男性はやや減少、女性は横ばいで推移し、目標となる男性50%、女性60%には届かず。

市民調査

地域で児童虐待に気づいたときの対応が分からない者の割合

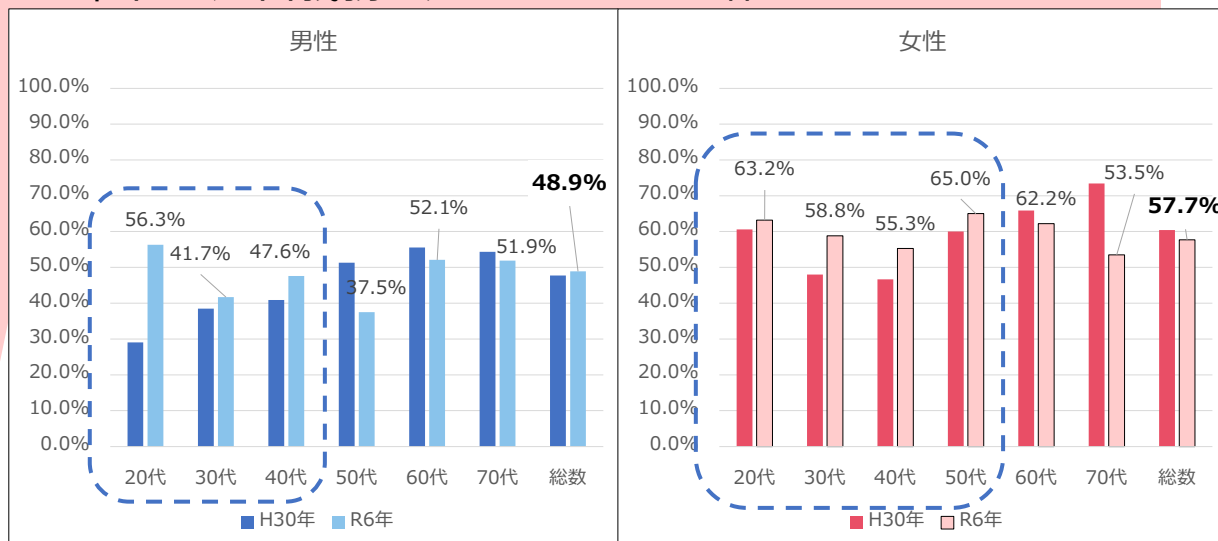


60代男性・50代女性では減少傾向が続いており、対応がわからない人は減りつつある。
30代男性・20代女性で40%、2.5人に1人が「対応が分からない」、もしくは「誰にも言わない」と回答した。
総数を見ると目標よりも多い結果となっており、目標達成には届かず。

市民調査

123

虐待の通告義務を知っている者の割合

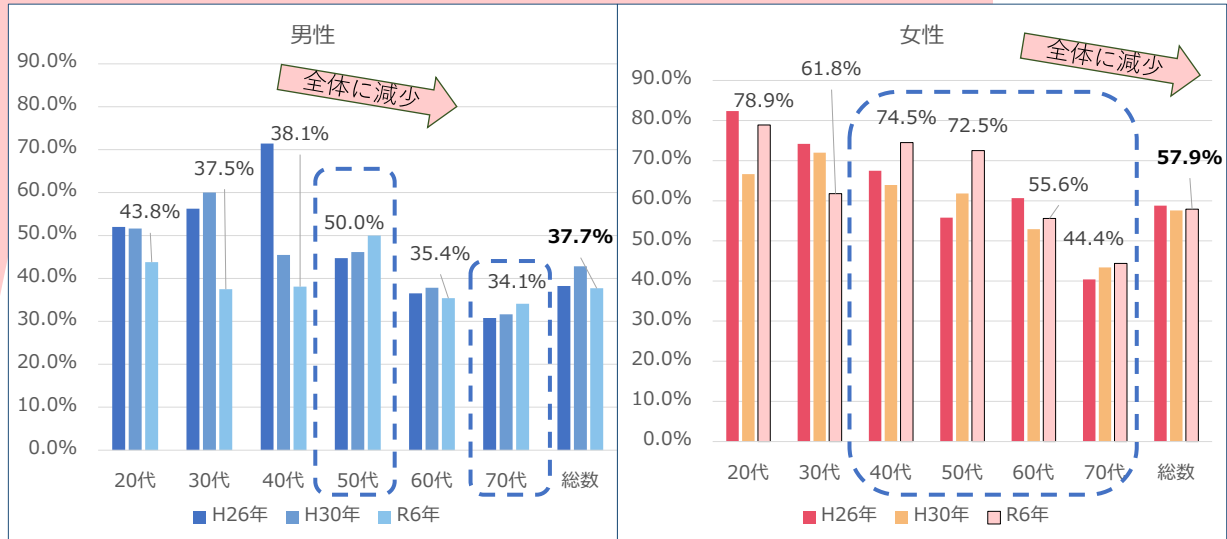


20~40代の男性、20代~50代の女性では通告義務を知っている者の割合は増加。それ以外の年代では減少。
総数では男性はやや増加、女性はやや減少。目標は90%となっており、目標には届かず。

市民調査

124

オレンジリボンを知っている者の割合



50代70代男性、40～70代の女性では策定時よりも増加。それ以外の年代は減少し、総数で見るとやや減少傾向。目標の男性45%、女性65%を達成せず。

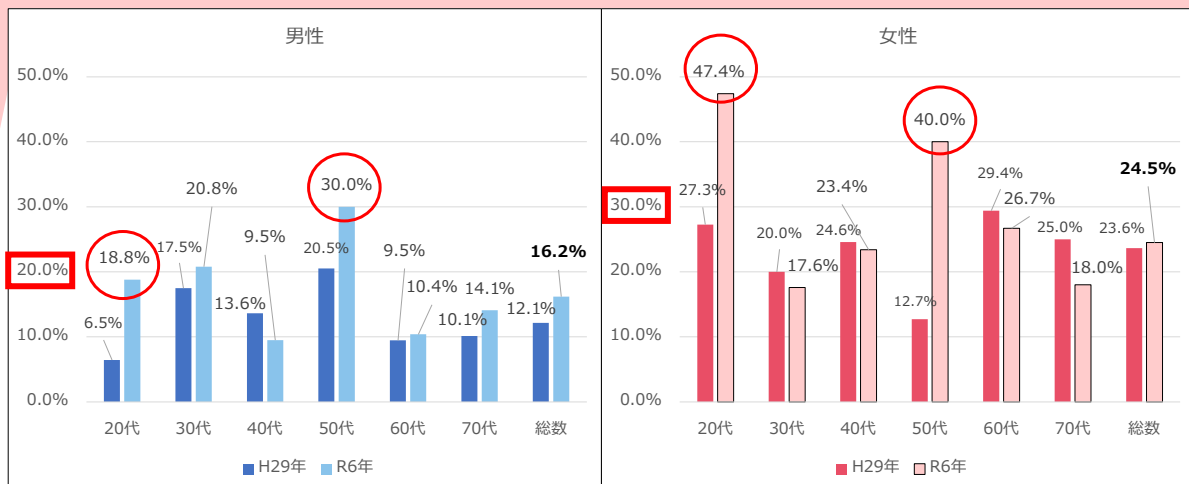
市民調査

オレンジリングを知っている者の割合の増加



認知症の症状や対応などの基礎知識を学び、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を見守る「認知症サポーター養成講座」で配布している。

大和郡山市では、10,700人以上(R7年3月現在)のサポーターが誕生している。







市民調査

指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
地域で健康づくりについて取り組んでいることがある者の割合	男性:36.6%	30.5%	45%	悪化
	女性:40.3%	33.8%	50%	悪化
介護予防事業(いきいき元気教室など一次予防事業)利用者の増加	1084人	4901人	増加	目標達成
すこやかちゃんを知っている人の割合の増加	男性:11.2%	17.6%	増加	目標達成
	女性:33.2%	37.1%	増加	目標達成
ベジたべちゃんを知っている人の割合の増加	男性:3.2%	3.9%	増加	目標達成
	女性:6.0%	16.7%	増加	目標達成

127

指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
居住地でお互いに助け合っていると思う者の割合	男性:61.8%	45.0%	65%	悪化
	女性:59.5%	49.1%	65%	悪化
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある者の割合の増加	4か月児健診受診児: 90.8% (H29)	89.9% (R5)	92%	悪化
	1歳6か月児健診受診児: 75.2% (H29)	81.6% (R5)	78%	目標達成
	3歳児健診受診児: 69.0% (H29)	71.9% (R5)	72%	改善したが 目標達成 ならず
両性の育児参加の増加	4か月児健診受診児: 54.7% (H29)	77.5% (R5)	55%	目標達成
	1歳6か月児健診受診児: 57.0% (H29)	66.5% (R5)	60%	目標達成
	3歳児健診受診児: 61.8% (H29)	67.3% (R5)	63%	目標達成

128

指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
乳幼児健診受診率の増加	 4か月児健診受診児: 98.8% (H25)	98.3% (R5)	維持または増加	目標達成
	 7か月児健診受診児: 97.5% (H25)	97.2% (R5)	維持または増加	目標達成
	1歳6か月児健診受診児: 94.5% (H25)	92.0% (R5)	増加	悪化
	 3歳児健診受診児: 87.6% (H25)	92.8% (R5)	増加	目標達成
マタニティマークを知っている人の割合の増加	男性:34.0%	64.8%	65%	改善したが 目標達成 ならず
	 女性:61.0%	80.2%	80%	目標達成
虐待について相談できる場を知っている人の割合の増加	男性:42.3%	40.0%	50%	悪化
	女性:52.1%	51.8%	60%	変化なし

129

指標	策定 (H26)	最終 (R6)	目標	達成度
地域で児童虐待に気づいたときの対応がわからない人の割合の減少	男性:32.4%	29.6%	25%	改善したが 目標達成ならず
	女性:27.8%	28.8%	25%	悪化
児童虐待について通告義務を知っているものの割合の増加	男性:47.7%	48.9%	90%	改善したが 目標達成ならず
	女性:60.4%	57.7%	90%	悪化
オレンジリボンを知っている人の割合の増加	男性:38.0%	37.7%	45%	悪化
	女性:59.0%	57.9%	65%	悪化
地域ほのぼのサロンの増加	18か所	18か所	増加	変化なし
オレンジリングを知っている人の割合の増加	男性:12.1%	16.2%	20%	改善したが 目標達成ならず
	女性:23.6%	24.5%	30%	改善したが 目標達成ならず

130